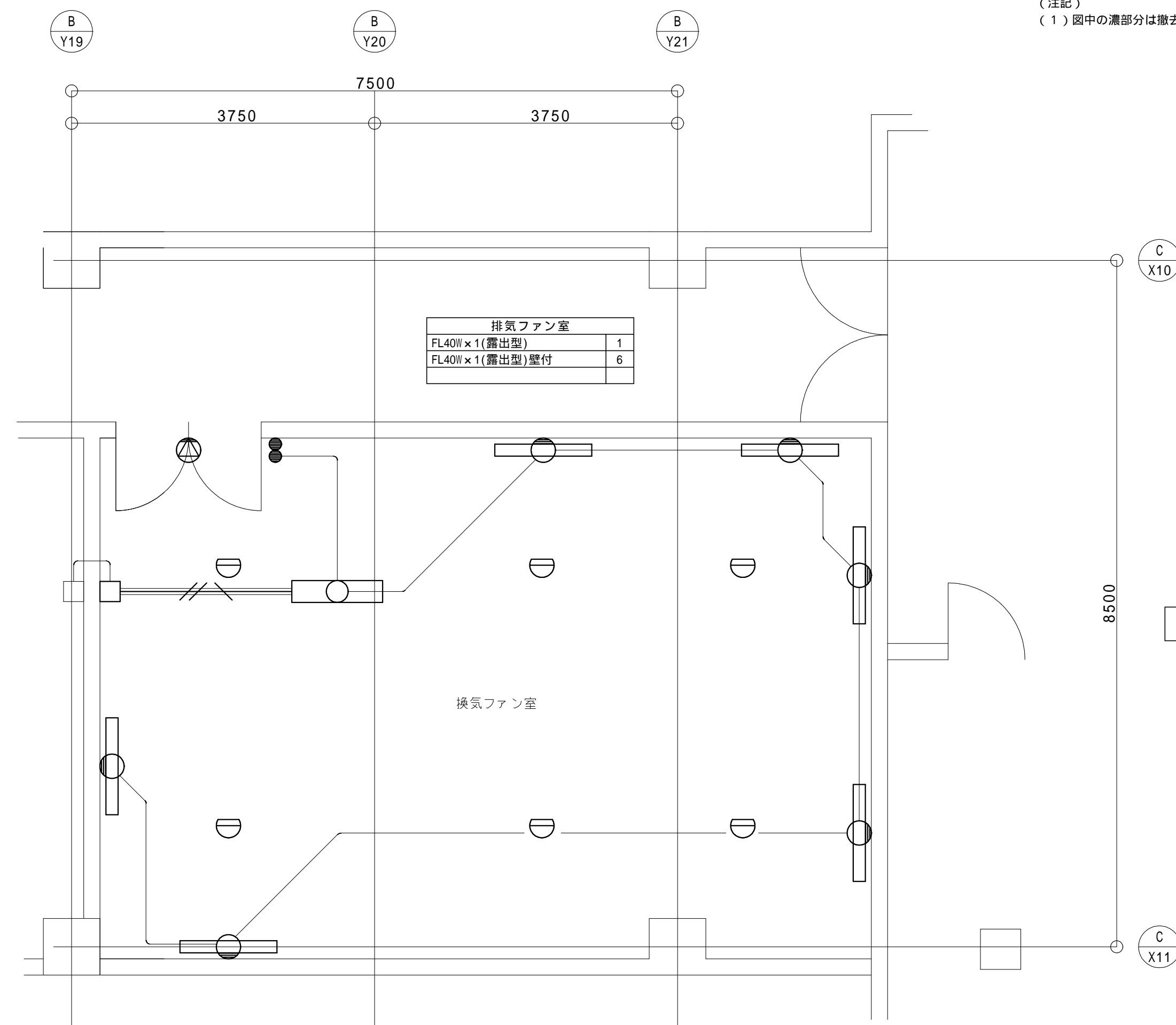


発電機室・ポンペ庫 電灯・弱電・自動火災報知設備 平面図(撤去) 1/50

(注記)
(1) 図中の濃部分は撤去を示し、薄線部分は既設を示す。



排気ファン室 電灯・弱電・自動火災報知設備 平面図(撤去) 1/50

(注記)
(1) 図中の濃部分は撤去を示し、薄線部分は既設を示す。

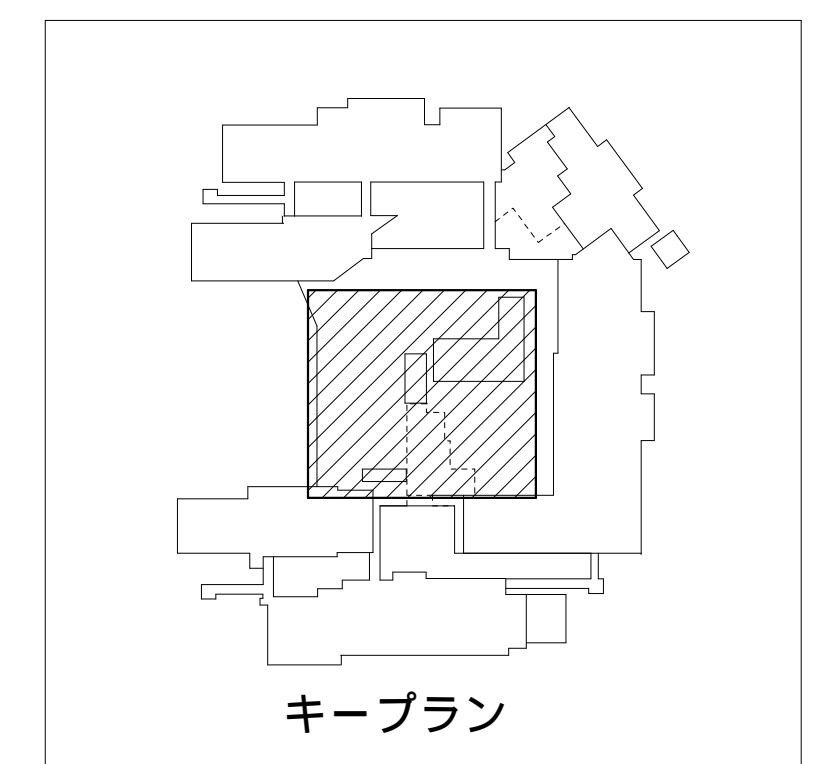
凡例

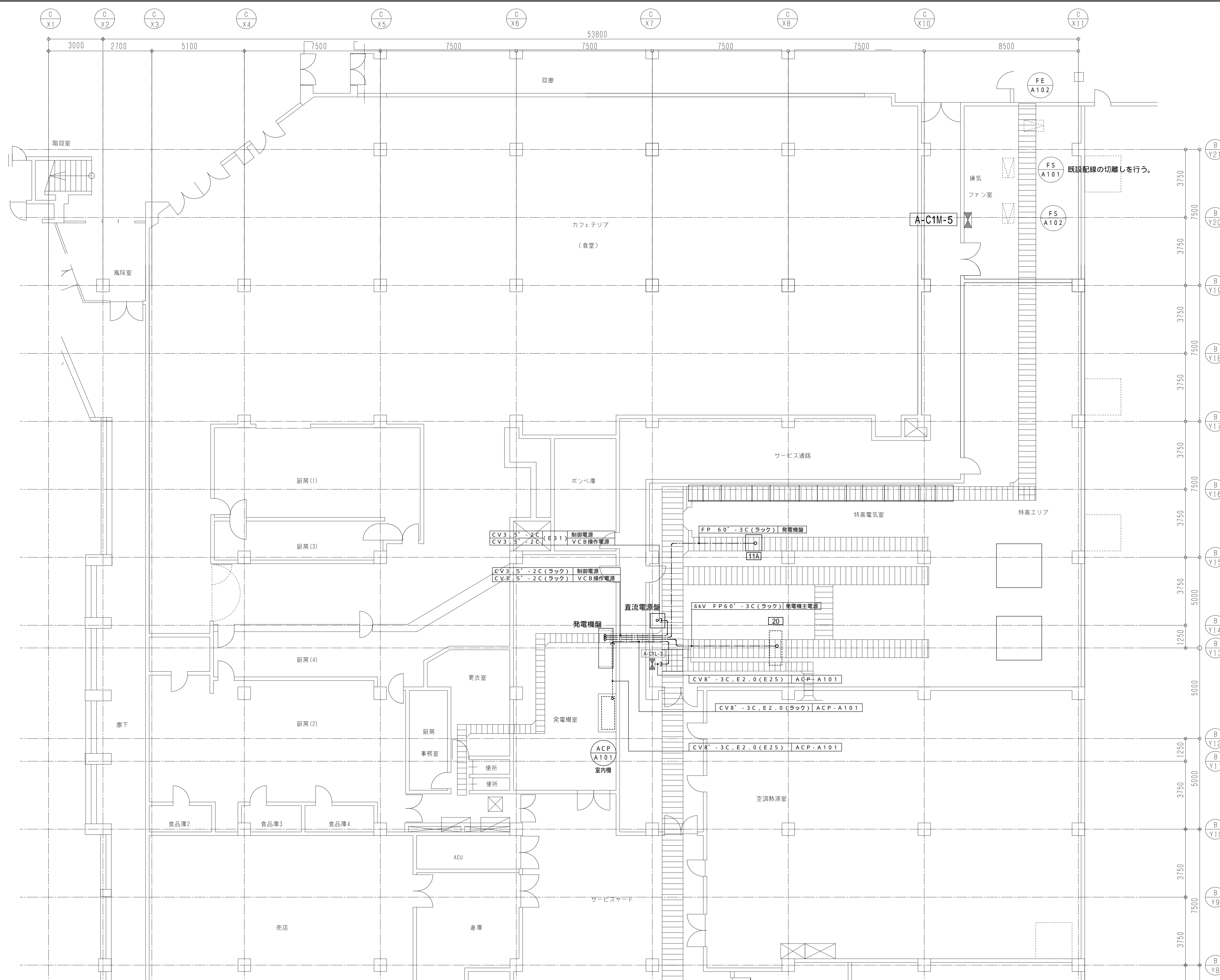
特記なき記号は下記による。

記号	名称	摘要
○	照明器具 (FL40W x 1)	撤去
○	照明器具 (FL40W x 2)	撤去
●	非常照明器具 (FL40W x 1)	撤去
○	照明器具 (FL40W x 1) 壁付	撤去
●	埋込スイッチ (1P15A x 1)	撤去
●	埋込スイッチ (1P15A x 2)	撤去
⊙	壁掛スピーカ	撤去
⊖	差動式漏れ電流感知器 2種 露出型	撤去
——	1種金属線び 40 x 30	撤去
□	1種金属線び用ジャンクションボックス	撤去
□	1種金属線び用ジャンクションボックス	既設
——	配管配線	既設
——	1種金属線び配線 (新設)	撤去

特記なき配管配線は、下記による。

——	VF2.0-3C (レースウェイ内)
——	VF2.0-2C x 2 (レースウェイ内)



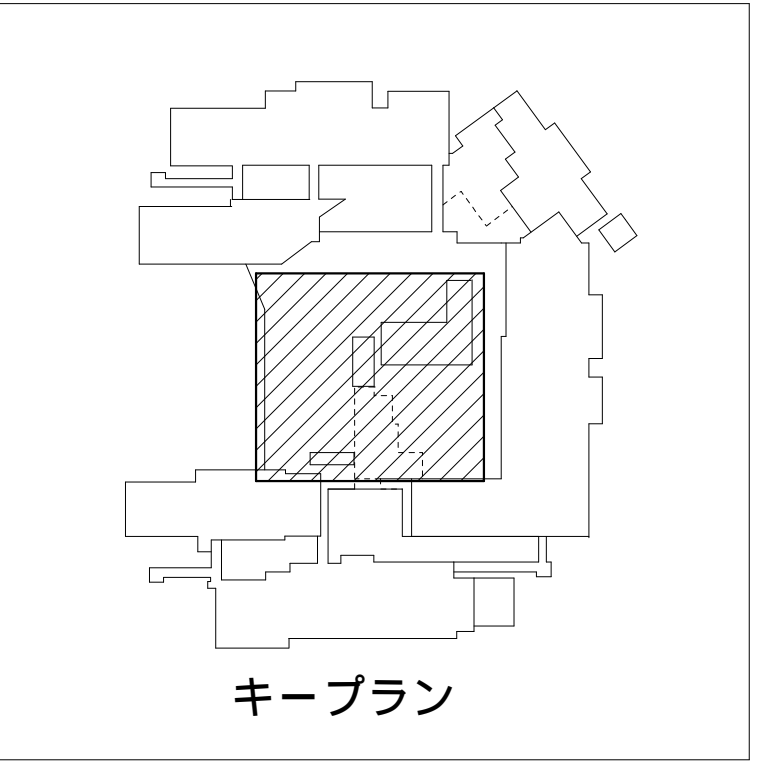


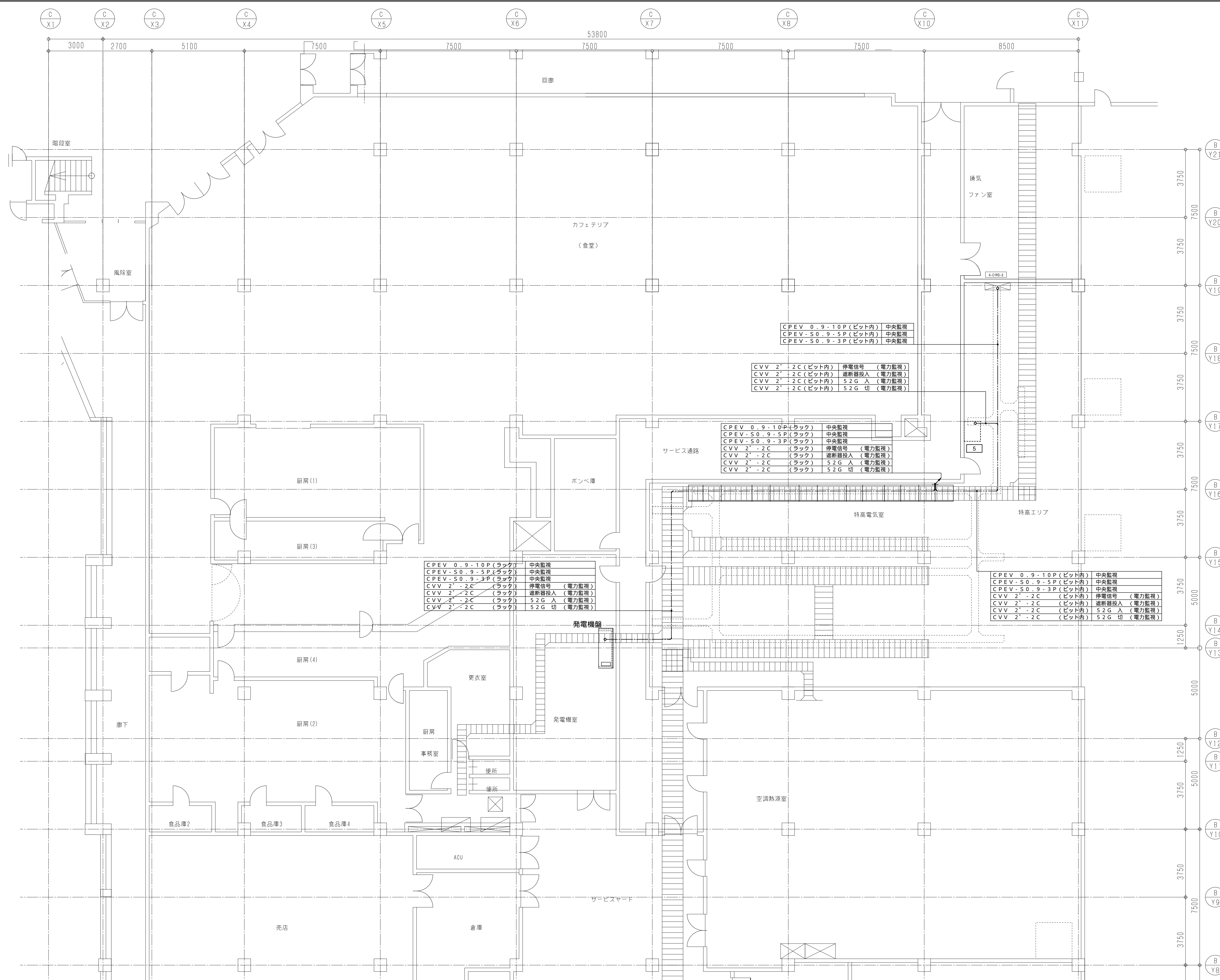
配電盤リスト

記号	名称	備考
20	発電機連絡盤	
11A	非常保安動力開閉器盤	

凡例
特記なき記号は下記による。

記号	名称	仕様
◻	動力盤 (既設)	
◻	ケーブルラック (既設)	
◻	防火区画貫通処理 (新設)	W=600用
⋯	露出配管配線 (新設)	
⋯	ケーブルラック上配線 (新設)	





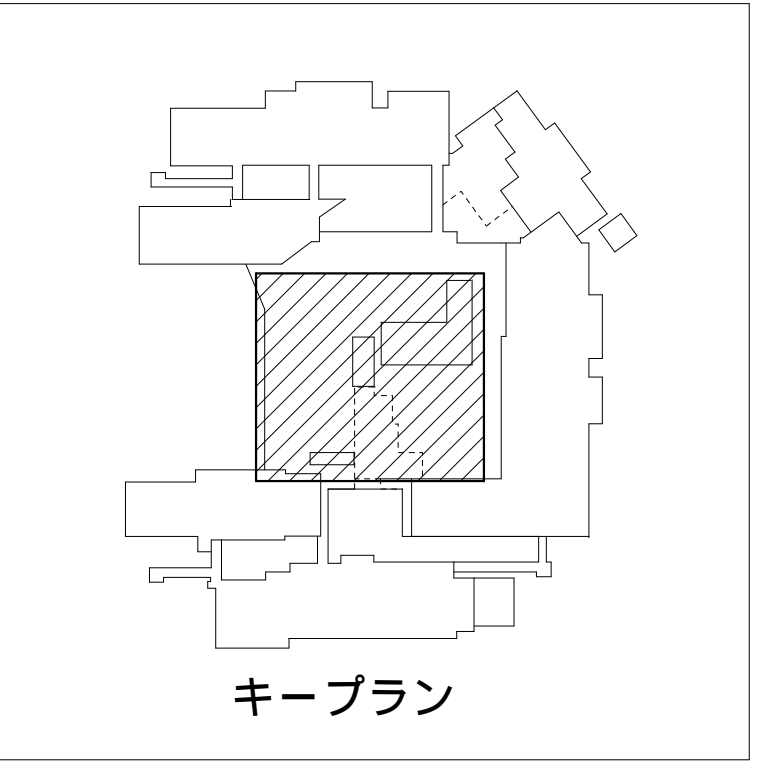
配電盤リスト		
記号	名称	備考
5	特高監視盤	

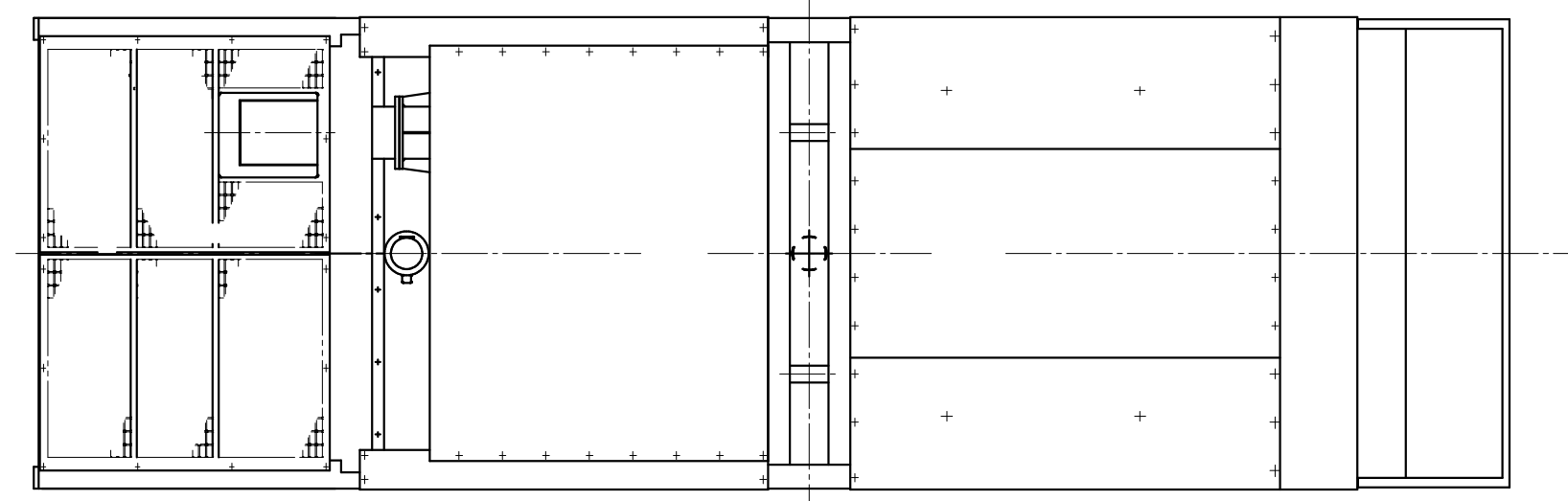
凡例		
特記なき記号は下記による。		
記号	名称	仕様
⊗	R5盤 (既設)	
□	ケーブルラック (既設)	
---	露出配管配線 (撤去)	
---	ケーブルラック上配線 (撤去)	
---	ビット配線 (撤去)	

CPEV 0.9-10P (ラック)	中央監視
CPEV-S0.9-5P (ラック)	中央監視
CPEV-S0.9-3P (ラック)	中央監視
CVV 2'-2C (ラック)	停電信号 (電力監視)
CVV 2'-2C (ラック)	遮断器投入 (電力監視)
CVV 2'-2C (ラック)	52G 入 (電力監視)
CVV 2'-2C (ラック)	52G 切 (電力監視)

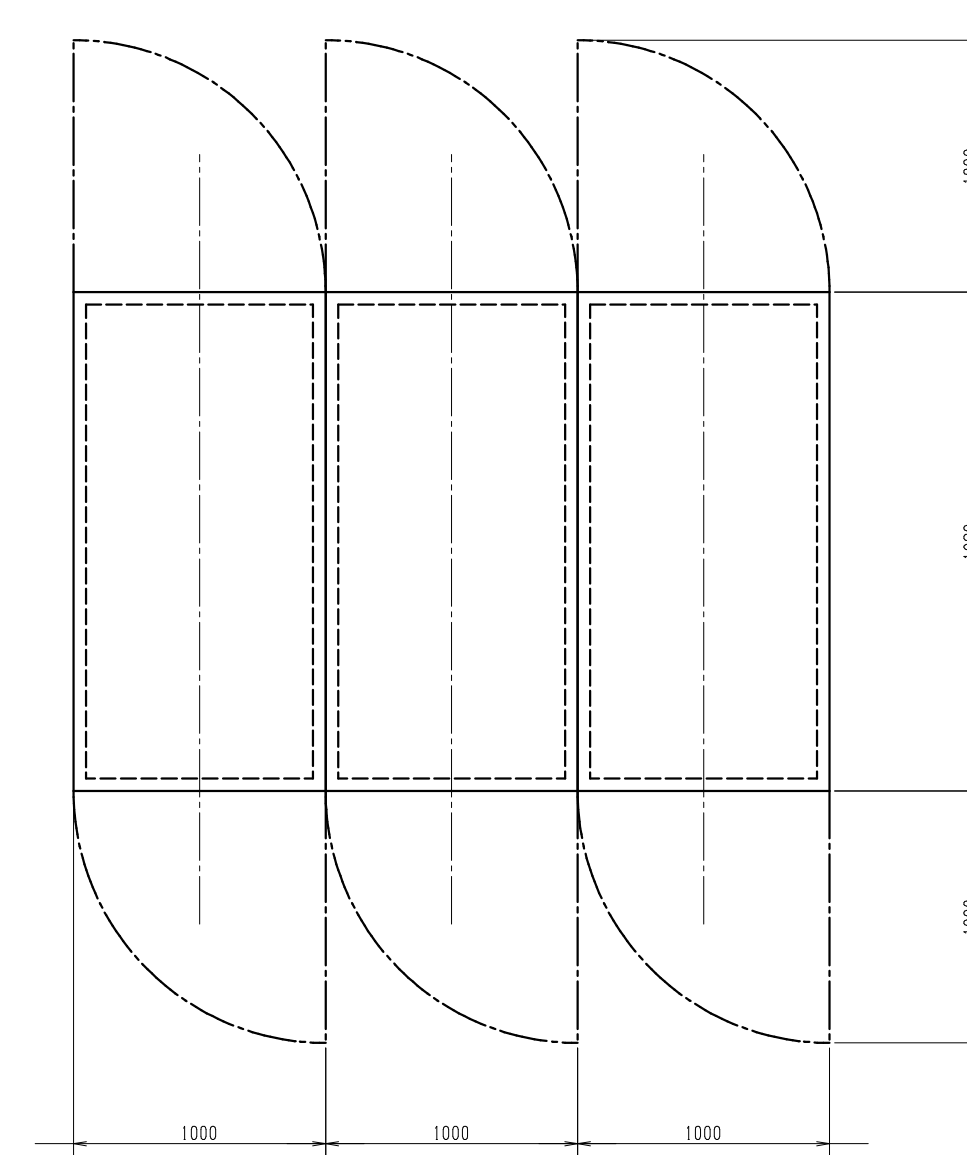
CPEV 0.9-10P (ラック)	中央監視
CPEV-S0.9-5P (ラック)	中央監視
CPEV-S0.9-3P (ラック)	中央監視
CVV 2'-2C (ラック)	停電信号 (電力監視)
CVV 2'-2C (ラック)	遮断器投入 (電力監視)
CVV 2'-2C (ラック)	52G 入 (電力監視)
CVV 2'-2C (ラック)	52G 切 (電力監視)

CPEV 0.9-10P (ビット内)	中央監視
CPEV-S0.9-5P (ビット内)	中央監視
CPEV-S0.9-3P (ビット内)	中央監視
CVV 2'-2C (ビット内)	停電信号 (電力監視)
CVV 2'-2C (ビット内)	遮断器投入 (電力監視)
CVV 2'-2C (ビット内)	52G 入 (電力監視)
CVV 2'-2C (ビット内)	52G 切 (電力監視)

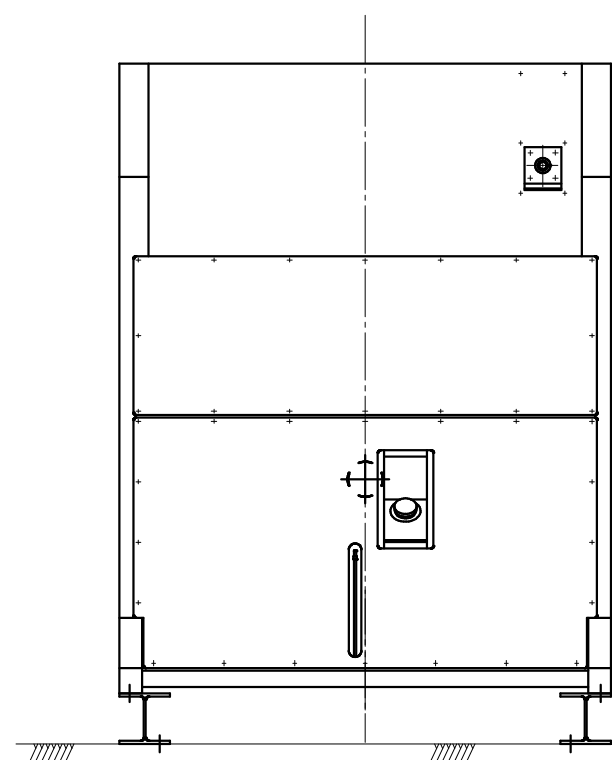




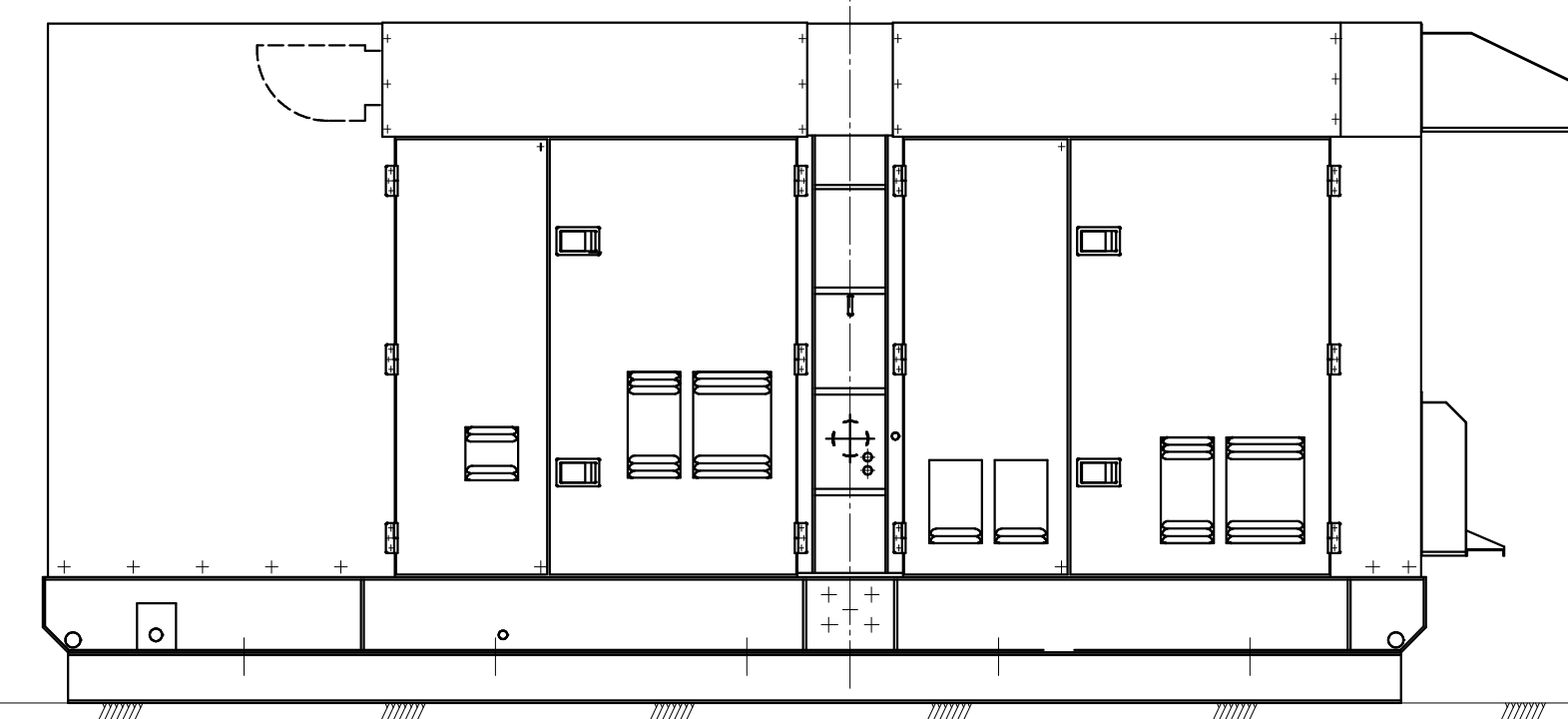
平面図



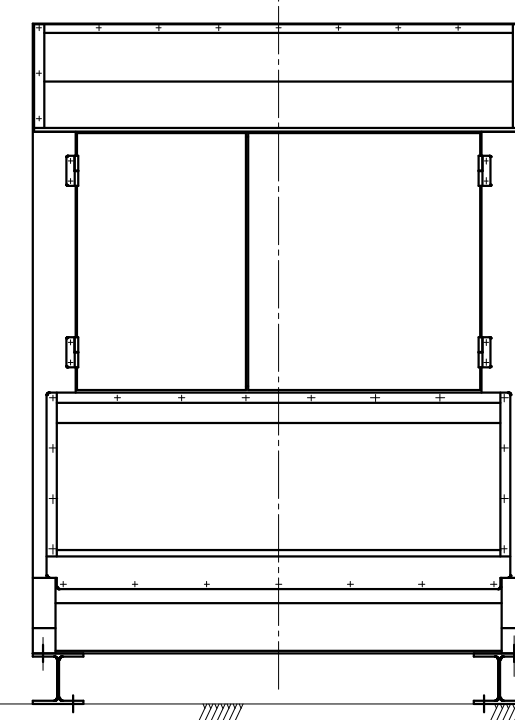
扉開閉図(尺度 1/30)



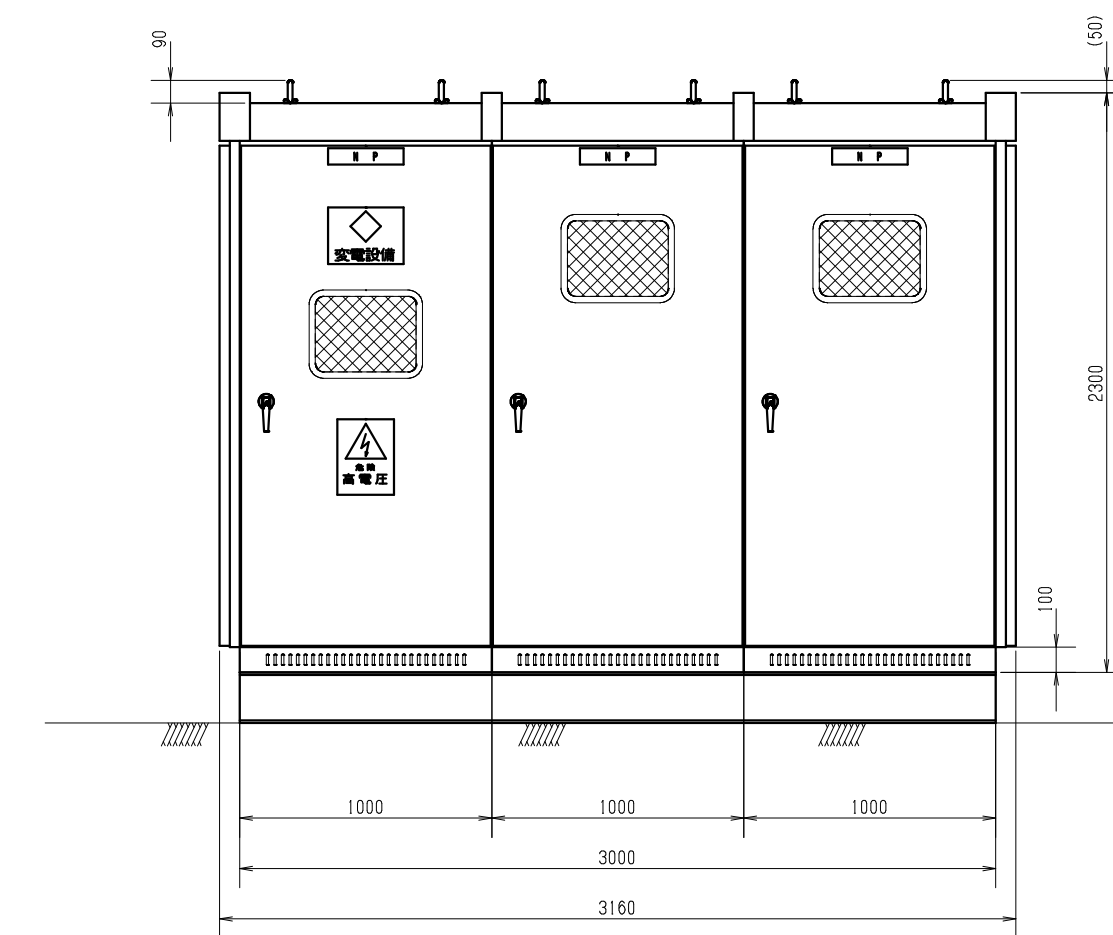
右側面図



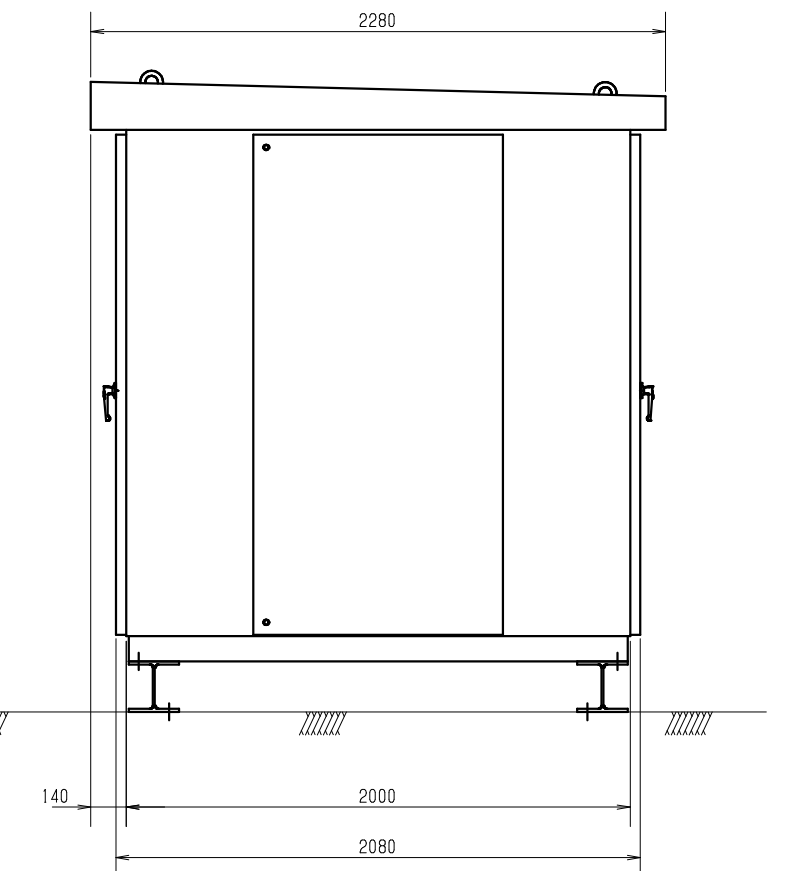
正面図



右側面図



正面図



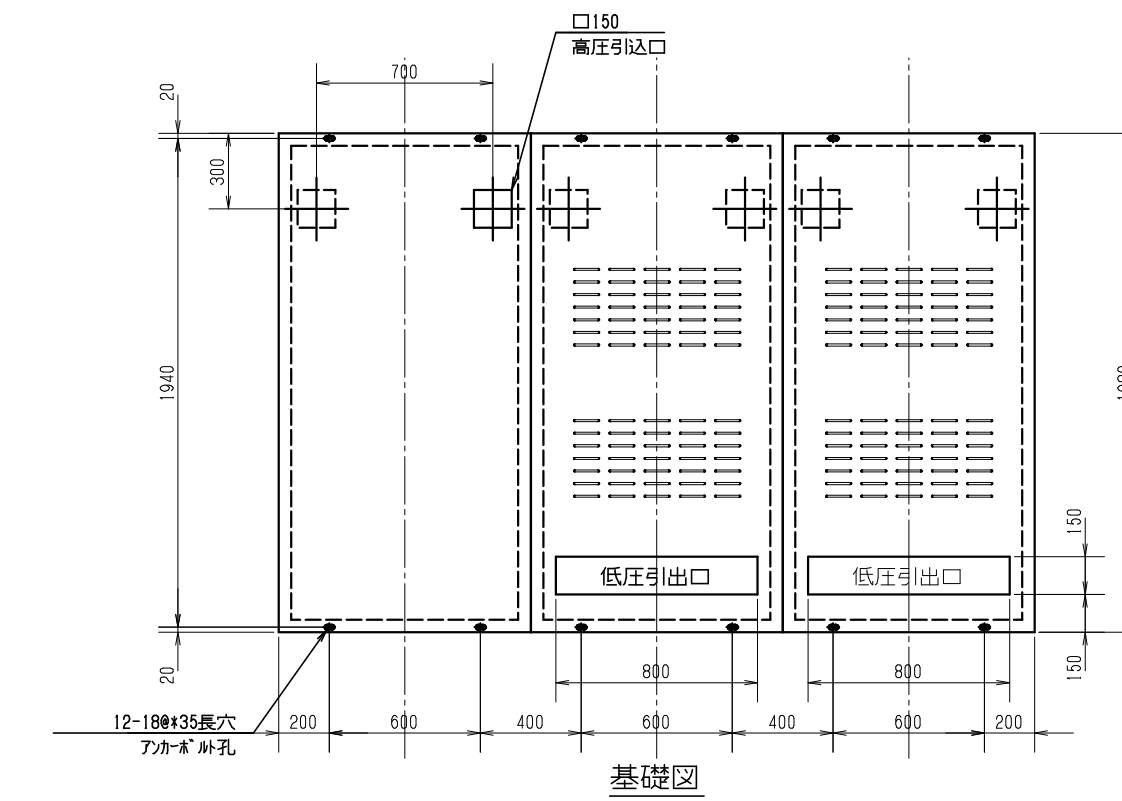
右側面図

仮設発電機外形図 S-1/30

エンジン : コマツ SA12V140
 発電機 : DF-8800
 乾燥質量 (注) : 11200
 整備質量 (注) : 12000
 燃料タンク容量 : 490L
 バッテリー : 190H52×4または210H52×4
 ⊕ 重心位置

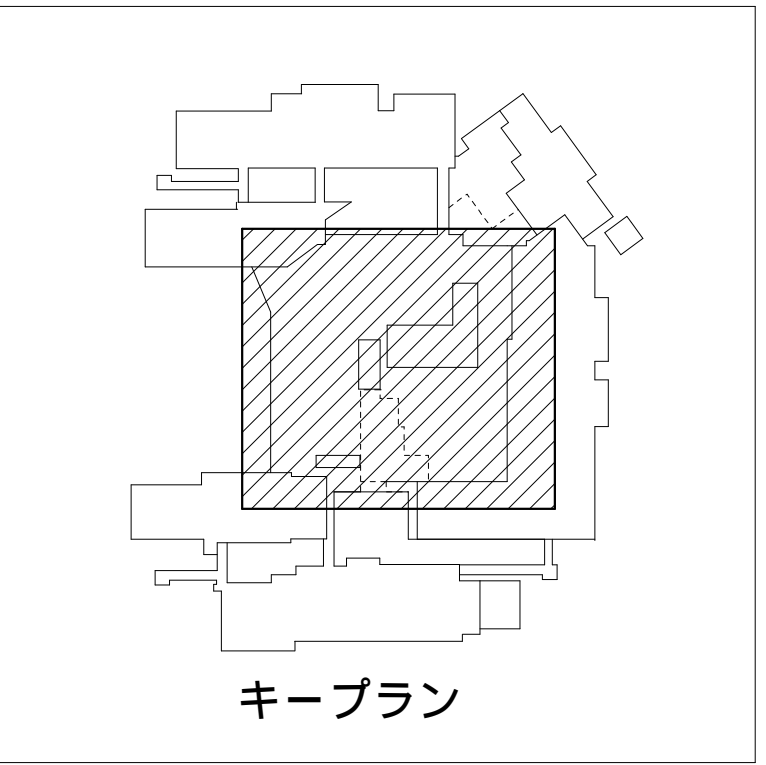
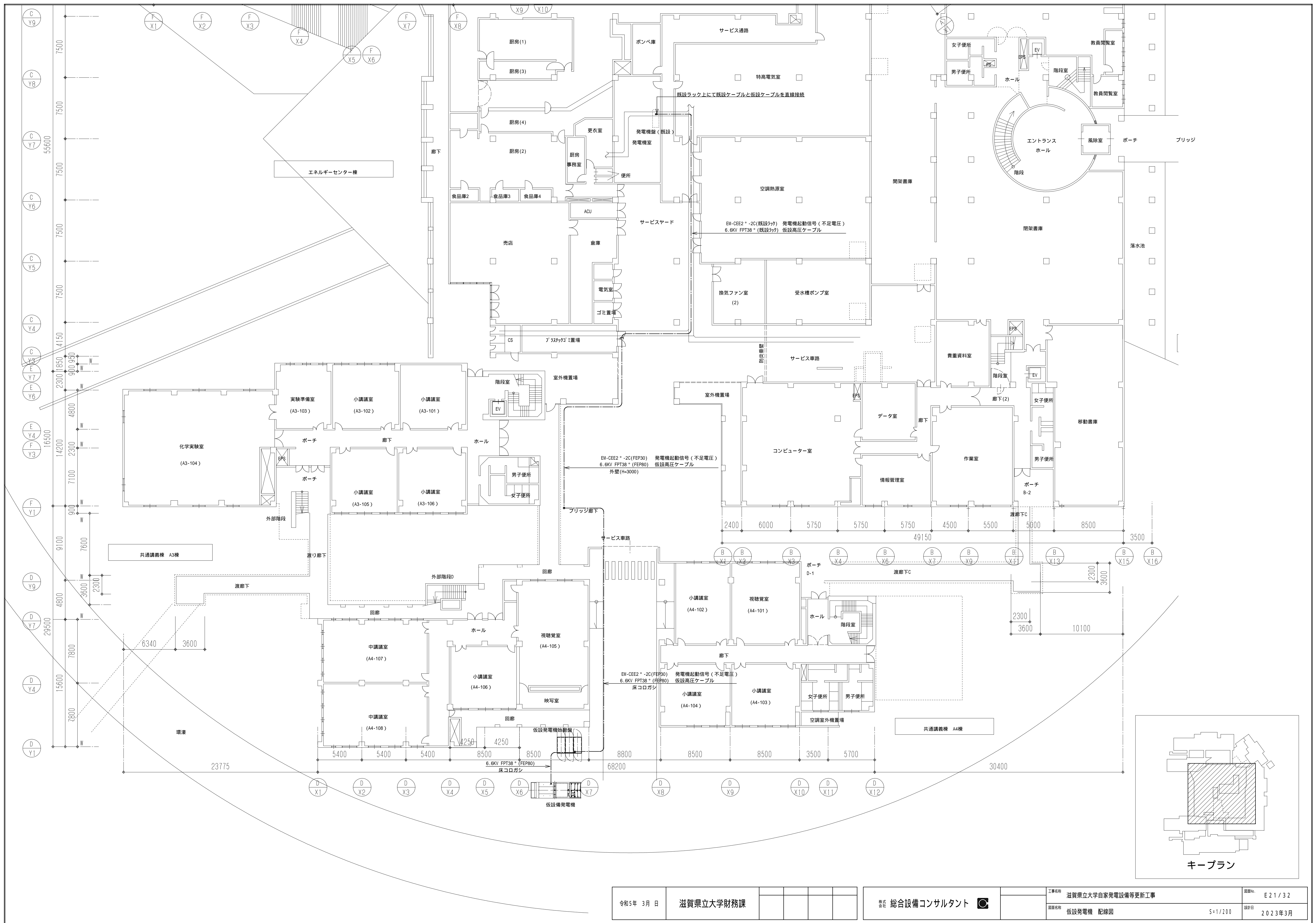
注記

1. 仮設発電機容量は800KVA(燃料搭載型)とする。
2. リース期間は2ヶ月とする。



基礎図

仮設発電機始動盤外形図 S-1/30



機械設備工事特記仕様書 2				種目	適用	項目	特記事項	種目	適用	項目	特記事項	種目	適用	項目	特記事項
種目	適用	項目	特記事項												
1 受水設備		工事範囲及び説明		11 暖房設備		工事範囲及び説明	発電機室の空調機の更新を行う。 尚、空調方式は空冷式とする。								
		負担金等 水量器 受水タンク 高置タンク 排水ポンプ 給水ポンプ 配管材料 保温工事	要、不要 貸与、本工事 ()製、容量(有効)m3、耐震(0.61、01.5)G ()製、容量(有効)m3、耐震(1.01、52.0)G 口径()mm x ()mmH x ()kW 口径()mm x ()mmH x ()kW 屋外配管：硬質塩化ビニル管 HVP-VP、ビニルライニング鋼管 VD ポリ粉体ライニング鋼管 PD 屋内配管：ビニルライニング鋼管 VA 施工は標準図による。												
2 給水設備		工事範囲及び説明		12 冷房設備		低温熱源機	直だし吸収式冷水発生機(単効用二重効用)、 水冷チリングユニット、空冷式ヒートポンプチラーユニット (ターボスクリュウ遠心吸収)冷凍機 鑄鉄製ボイラー、鋼製ボイラー								
		給水方式 配管材料 保温工事 水圧試験 継手、弁等 水質試験	直圧式、加圧式、重力式 屋外配管：硬質塩化ビニル管 HVP、ビニルライニング鋼管 VD ポリ粉体ライニング鋼管 PD 屋内埋設配管：ビニルライニング鋼管 VD ポリ粉体ライニング鋼管 PD 屋内配管：ビニルライニング鋼管 VA ポリブテン管、水道用ポリブテン管、架橋ポリエチレン管 施工は標準図による。 水圧試験を行い漏水のないようにする。 ライニング鋼管には管端防食継手(埋設部は外面樹脂被覆型)、管端防食型弁、 ライニング弁を使用する。 飲用試験(9項目+残留塩素)を行う(1箇所)。												
3 排水通気設備		工事範囲及び説明		13 空調和設備		空気調和機	放熱器 ファンコイルユニット、ファンコンベクタ、コンベクタ、ベースボードヒータ パッケージ型空調機 ダクト 配管材料 保温保冷 自動制御 中央監視								
		排水方式 配管材料 保温工事 その他	単独式、合流式、屋内分流量外合流式 屋外配管：硬質塩化ビニル管 VP・VU、卵形管 EGP 硬質塩化ビニルリサイクル三層管 RF-VP 下水通気リサイクル三層硬質塩化ビニル管RS-VU(埋設部) 屋内配管：硬質塩化ビニル管 VP、排水用鉛管 LP 排水用鋳鉄管 CIP、硬質塩化ビニルリサイクル管 RF-VP 排水用ビニルライニング鋼管 DVL、耐火二層管 施工は標準図による。 曲がり部はできる限り大曲がりエルボを使用し、排水の流通を良くする。												
4 衛生器具設備		工事範囲及び説明		14 建築工事		工期									
衛生器具	器具リストによる。														
5 ガス設備		工事範囲及び説明		特記事項											
負担金等 ガス計量器 配管材料 試験 ガスの種別 その他	要、不要 貸与、本工事 屋外配管：配管用炭素鋼管(白)(露出部)、ポリエチレン被覆鋼管(埋設部)、 ポリエチレン管(埋設部) 屋内埋設配管：ポリエチレン被覆鋼管、ビニル被覆鋼管 屋内配管：配管用炭素鋼管(白)、フレキ管(SUS) 気密試験後、点火試験を行い燃焼の確認、機器調整を行う。 都市ガス(13A)、プロパンガス 埋設で合成樹脂被覆鋼管の接続は、合成樹脂被覆メカ継手、サービスコックは合成 樹脂被覆ボールバルブとする。														
6 消火設備		工事範囲及び説明													
消火水槽 消火充水槽 消火ポンプ 大型消火器 配管材料 保温	()製、容量(有効)m3、(専用受水槽兼用) ()製、容量(有効)m3 口径()mm x ()mmH x ()kW A-10、B-20、C- 屋外配管：ビニル被覆鋼管 SGP-VS 配管用炭素鋼管(白) 屋内配管：配管用炭素鋼管(白) 屋外露出配管は、保温すること。														
7 給湯設備		工事範囲及び説明													
給湯ボイラ 熱源 配管材料 保温工事	鑄鉄製セクショナルボイラ、鋼製ボイラ、ガス炊きボイラ 電気温水器、給湯器 A 重油、灯油、LPガス、都市ガス(13A)、電気 脱酸鋼管M、ステンレス鋼管、耐熱ビニルライニング鋼管 保温付き被覆鋼管(保温厚14mm以上)、ポリブテン管 施工は標準図による。														
8 し尿浄化槽設備		工事範囲及び説明													
構造 処理方式 容量 処理水質 その他	地上式地下式半地下式()製 接触曝気式長時間曝気式 JIS()人槽、()m3/day BOD(ppm)、SS(ppm)、N(ppm)、P(ppm) 別紙特記仕様書による。														
9 換気設備		工事範囲及び説明													
送風機 ダクト 保温 施工 機器	・発電機室系統の送風機の更新を行う。 シロココファン 亜鉛鉄板製(共板工法) 空調換気扇の外気側給排気ダクトは、保温すること。 送風機据付については、防音、防振に注意して施工のこと。 機器リストによる。														
10 排煙設備		工事範囲及び説明													
排煙機 排煙方式	A方式=手動操作 排煙ダンパー 自動起動盤 排煙機 B方式=煙感知器 中継器 手動操作 排煙ダンパー 自動起動盤 排煙機														

令和5年 3月 日 滋賀県立大学財務課

株式会社 総合設備コンサルタント

工事名称 滋賀県立大学自家発電設備等更新工事 図面番号 M02/32
図面名称 機械設備特記仕様書2 NOSCALE 設計日 2023年3月

使用機材製造者指定

本工事に使用する機材材料は、下記に指定する製造者のものを使用のこと。ただし、同等品を使用する場合には、建築課所定の様式により承諾を得て使用のこと。

適用	機材名	製造業者				
<input type="radio"/>	配管	JIS規格等適合品製造者				
<input type="radio"/>	弁類	JIS規格等適合品製造者				
	タンク					
	ポンプ					
	水量器					
	防振継手					
	ルネブ 矽 ｺｲﾝ(SUS)					
	ルネブ 矽 ｺｲﾝ(ｽﾀ)					
	排水金物類					
	マンホール類					
	グリストラップ					
	衛生陶器類					
	CO2消火設備	エア・ウォーター防災				
	大型消火器	初田製作所 ヤマトプロテック				
	ボイラ					
	瞬間湯沸器					
	給湯器					
	厨房機器					
	ガス集合装置					
	ガスコック類					
	浄化槽					
<input type="radio"/>	送風機	荏原製作所 テラル	ミツヤ送風機			
	換気扇					
	全熱交換器					
	排煙機					
	防火・防煙・排煙ダンパー					
	冷凍機					
	冷水発生機					
	冷却塔					
<input type="radio"/>	空調機	ダイキン工業 三菱電機	日立アプライド パナソニック 三菱重工 東芝キャリア			
	放熱器					
	ファンコイルユニット					
	吹出口吸込口					
	製缶類					
<input type="radio"/>	自動制御機器	アズビル				
<input type="radio"/>	中央監視(空調監視用)	アズビル				
	冷媒用化粧ダクト					

工事図記号(凡例)は別図()による。

空調機器表

記号	名称	機 器 仕 様													付 属 品												
		型式	設置室名	リモコン	設計値 (kW)		定格能力 (kW)		圧縮機 (kW)	送風機 (kW)	冷媒配管長 (m)		空気条件		冷媒配管径 ()		電源種別 (-V)	電源総容量 (kW)	台数 (台)	防振種別	プレナム室	防音ネット				備 考	
					冷房	暖房	冷房	暖房			相当長	高低差	室外	室内	ガス管	液管											
ACP-A101 (ビル用マルチタイプ)	空冷パッケージ形空調和機室外機		地上 屋外機置場		51.5	—	56.0	63.0	6.93+6.93	0.54+0.54	50.4	0.3	A		28.6	15.9	3-200	23.0	1	B							
	空冷パッケージ形空調和機室内機	FRV(D)	発電機室	本体組込	51.5	—	50.0(56.0)	56.0(63.0)		4.99									1	B	○	○					
ACP-A101 (撤去) (ビル用マルチタイプ)	水冷パッケージ形空調和機室内機	FRV(D)	発電機室	本体組込	—	—	61.6	—	3.7	7.5+7.5	—	—	B	—	—	—	—	3-200	18.7	1	B	○				冷温水発生器は残置	
特 記 事 項																											
1. 電気容量は参考値とする。(電源周波数 60Hz)														7. 機器形式は、下記通りとする。													
2. 表示冷房能力・暖房能力は、JIS条件時に補正した能力(冷媒配管補正値)を示す。														FRV(J): 床置立形(直吹) FRV(D): 床置立形(ダクト)													
3. エアコンは、新冷媒対応品(使用冷媒はオゾン層を破壊しない冷媒(R32)を原則とし、それ以外はR410Aとする)、グリーン購入法適合機種とする。														CID: 天井吊(隠ぺい)形(両ダクト) CR: 天井吊(露出)形													
4. 付属品 ・屋内機全般種共通: ロングライフフィルター(メーカー標準品)														A: 夏 34.5 RH 58.1% 冬 -0.3 RH 77.2%													
5. 防振装置 A: スプリング防振架台(絶縁効率80%以上)														B: 夏 30.0 RH 成行													
														9. 室外-室内機間の渡り配線は冷媒管共巻とする。(EM-CEES1.25mm ² -2C)													
														10. 定格電流20Aを超える場合、高周波対策(アクティブフィルター取付)のこと。													

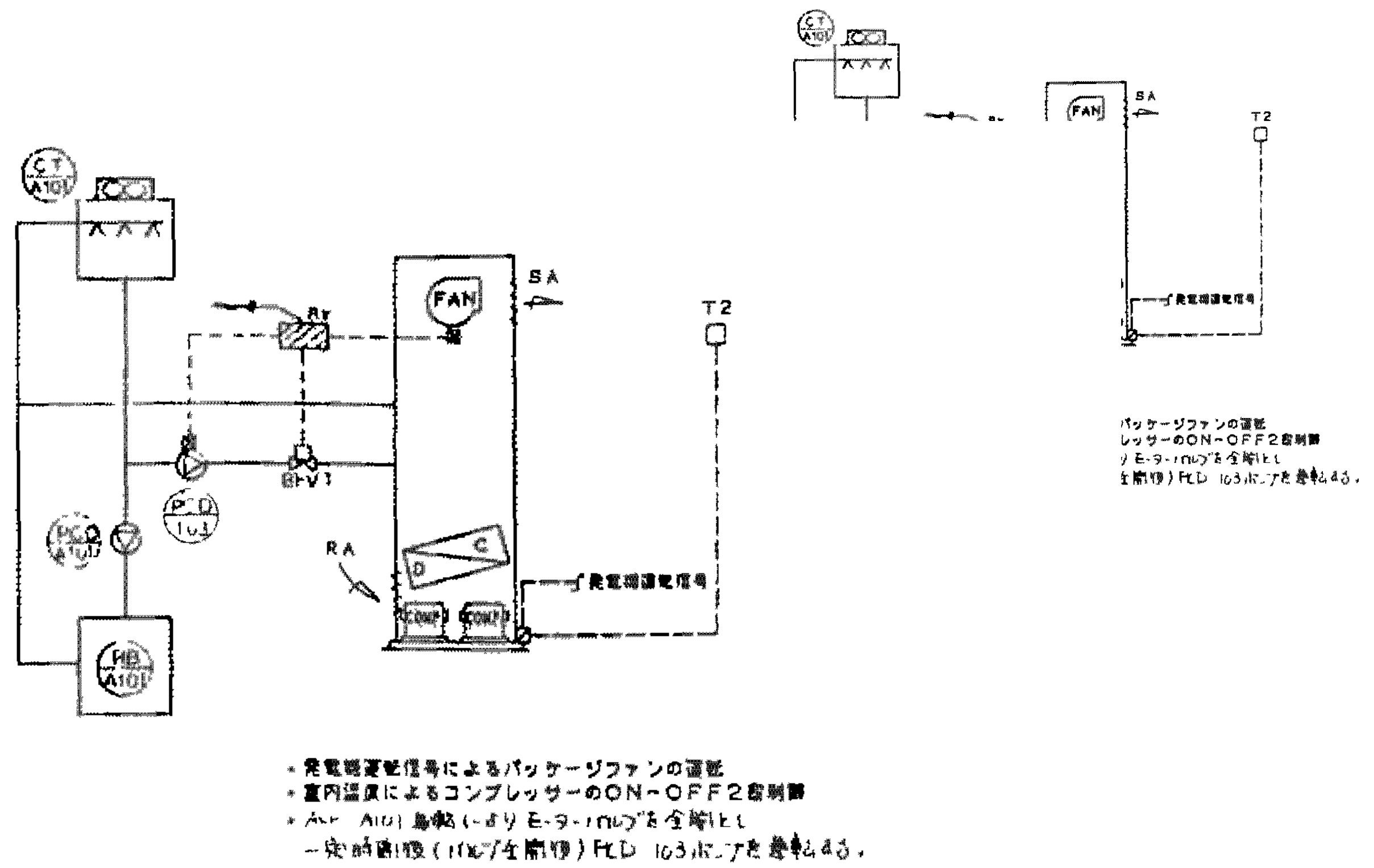
換気機器表

機器番号	名称	型式	台数	番手 #	風量 m ³ /h	静圧 Pa	動力 kW	電源 -V	防振	設置場所	備考
FS-A101	発電機室給気ファン	片吸込シロッコ床置型	1	#2・1/2	6300	300	2.2	3-200	スプリング防振架台	換気ファン室	
FE-A101	発電機室排気ファン	片吸込シロッコ天井型	1	#1・1/2	2000	300	0.75	3-200	スプリング防振架台	発電機室	
FS-A101 (撤去)	発電機室給気ファン	片吸込シロッコ床置型	1	#3	10300	300	3.7	3-200	スプリング防振架台	換気ファン室	
FE-A101 (撤去)	発電機室排気ファン	片吸込シロッコ天井型	1	#2・1/2	5500	300	1.5	3-200	スプリング防振架台	発電機室	
特 記 事 項											
1. 電気容量は参考値とする。(電源周波数 60Hz)				3. その他はメーカー標準とする。							
2. 設計能力以上の製品とする。											

ポンプ機器表

機器番号	名称	型式	台数	口径 mm	水量 L/min	揚程 m	容量 kW	電源 -V	防振	設置場所	備考
PCD-A103 (撤去)	冷却水ポンプ	ライン型渦巻	1	50	260	20	2.2	3-200	ゴムスプリング併用	空調熱源機械室	
特 記 事 項											
1. 電気容量は参考値とする。(電源周波数 60Hz)				2. その他はメーカー標準とする。							

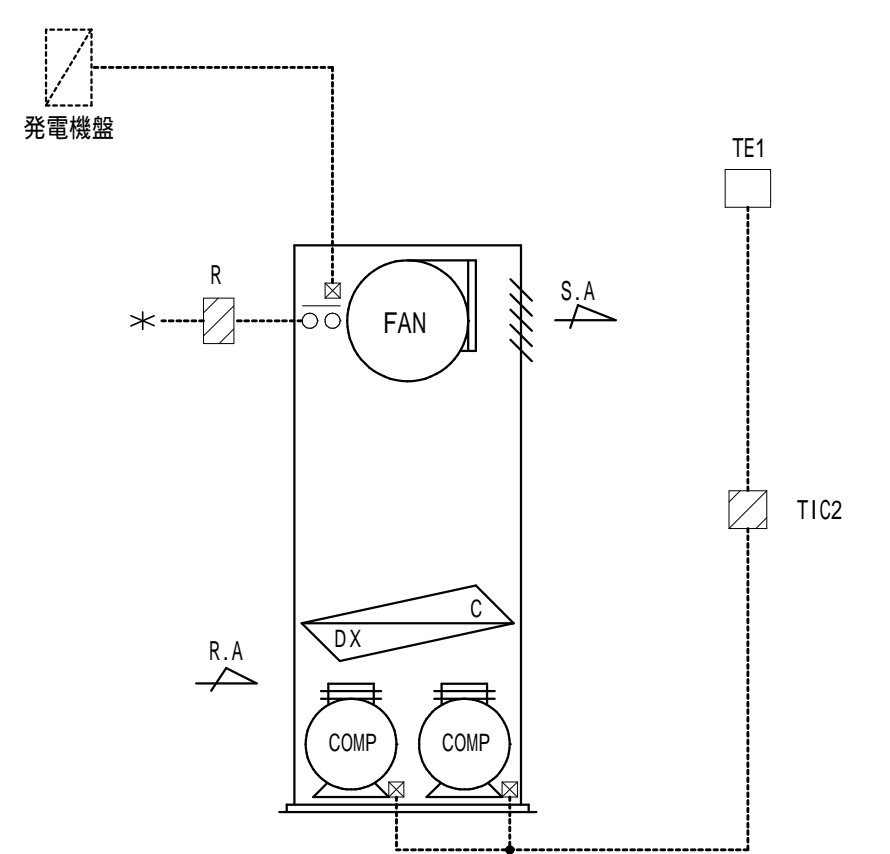
<エネルギーセンター棟>
ACP-A101 1F 発電機室



- 発電機室信号によるパッケージファンの運転
- 室内温度によるコンプレッサーのON-OFF 2 制御
- ACP-A101 運転により E-9-100% を全開とし一定時間後 (10.3 分) を運転しきる。

全て撤去とする

収納盤
A-C1CP-3



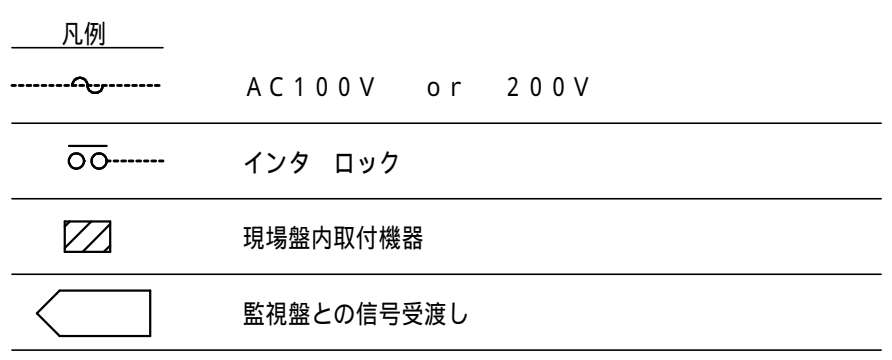
- 制御項目
1. 発電機室信号によりパッケージの連動運転を行う。
 2. 室内温度制御
室内温度によりコンプレッサーのON/OFF 制御を行う。(2 段)

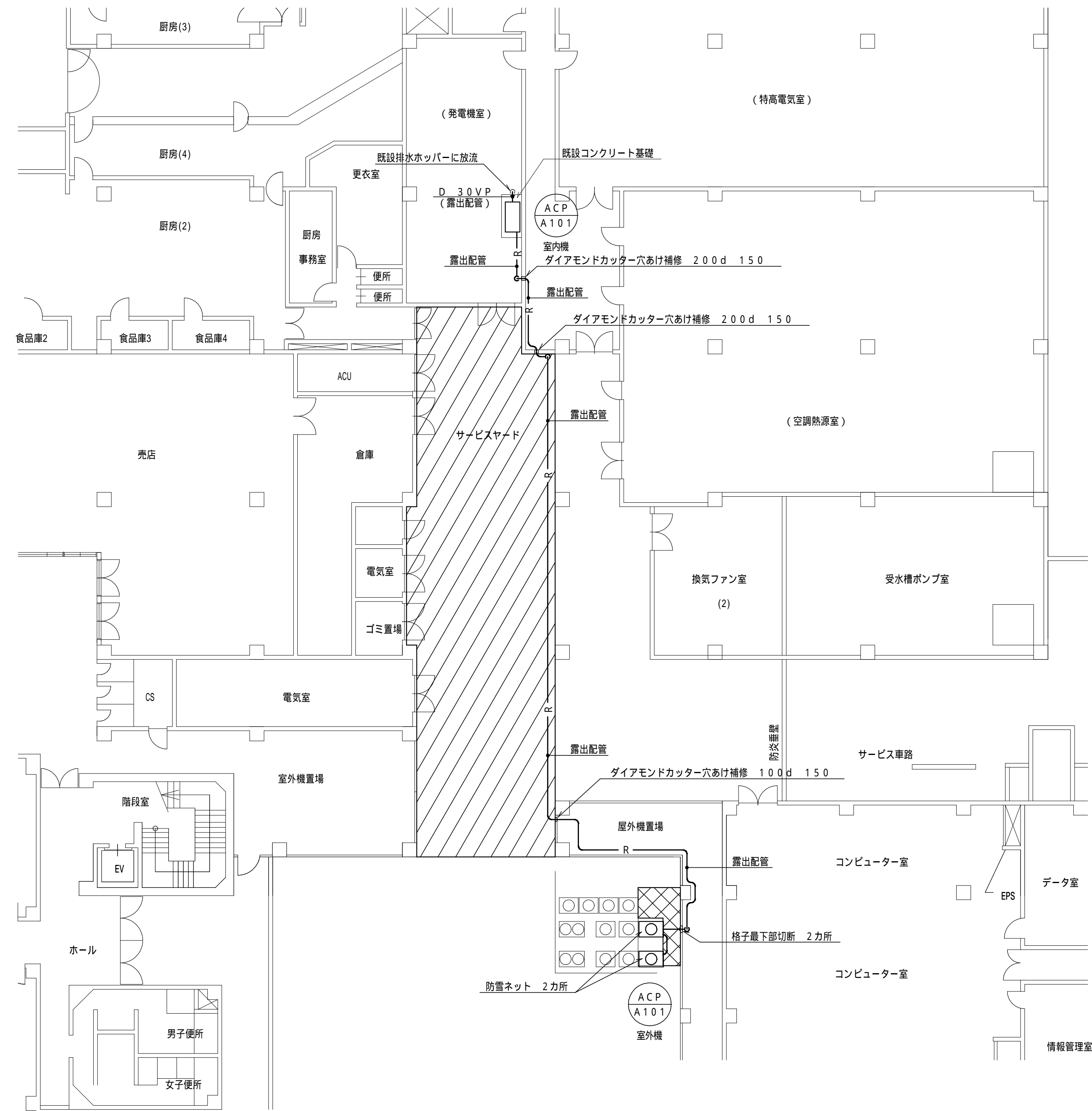
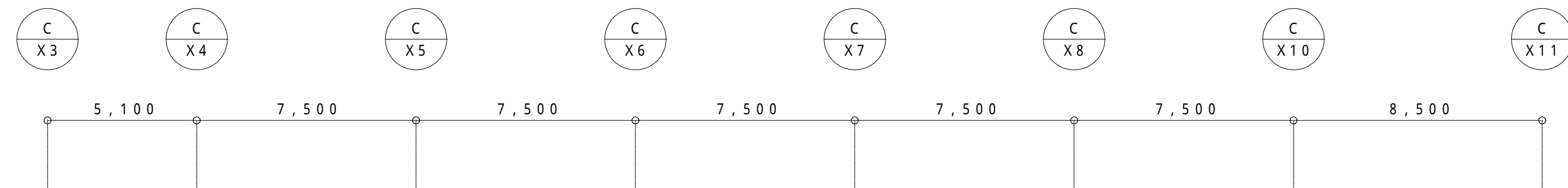
自動制御機器表

記号	名称	形番	備考
TE1	室内型温度検出器	TY7043Z	Pt100
TIC2	温度指示調節計	R36T	
R	補助リレー	-	

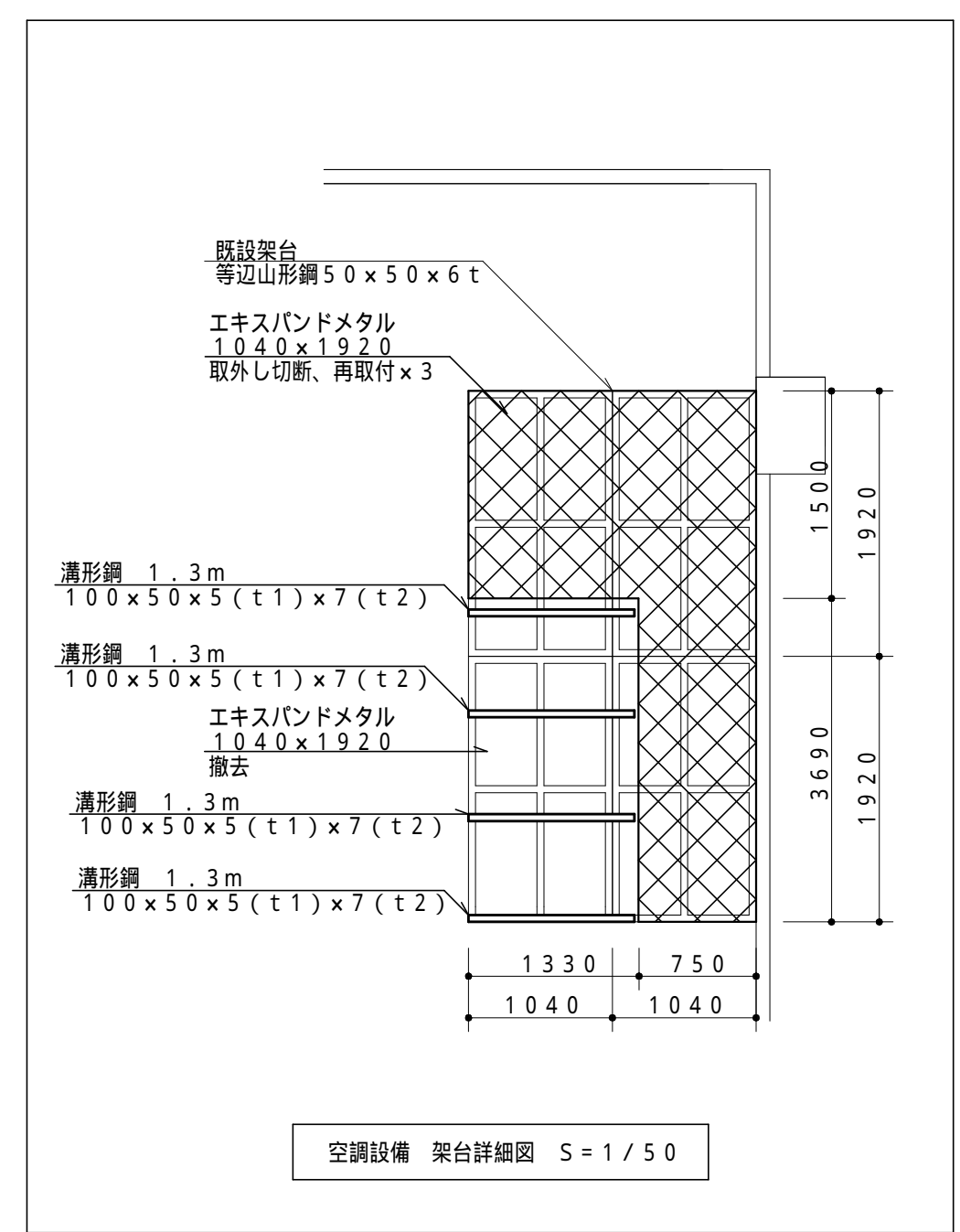
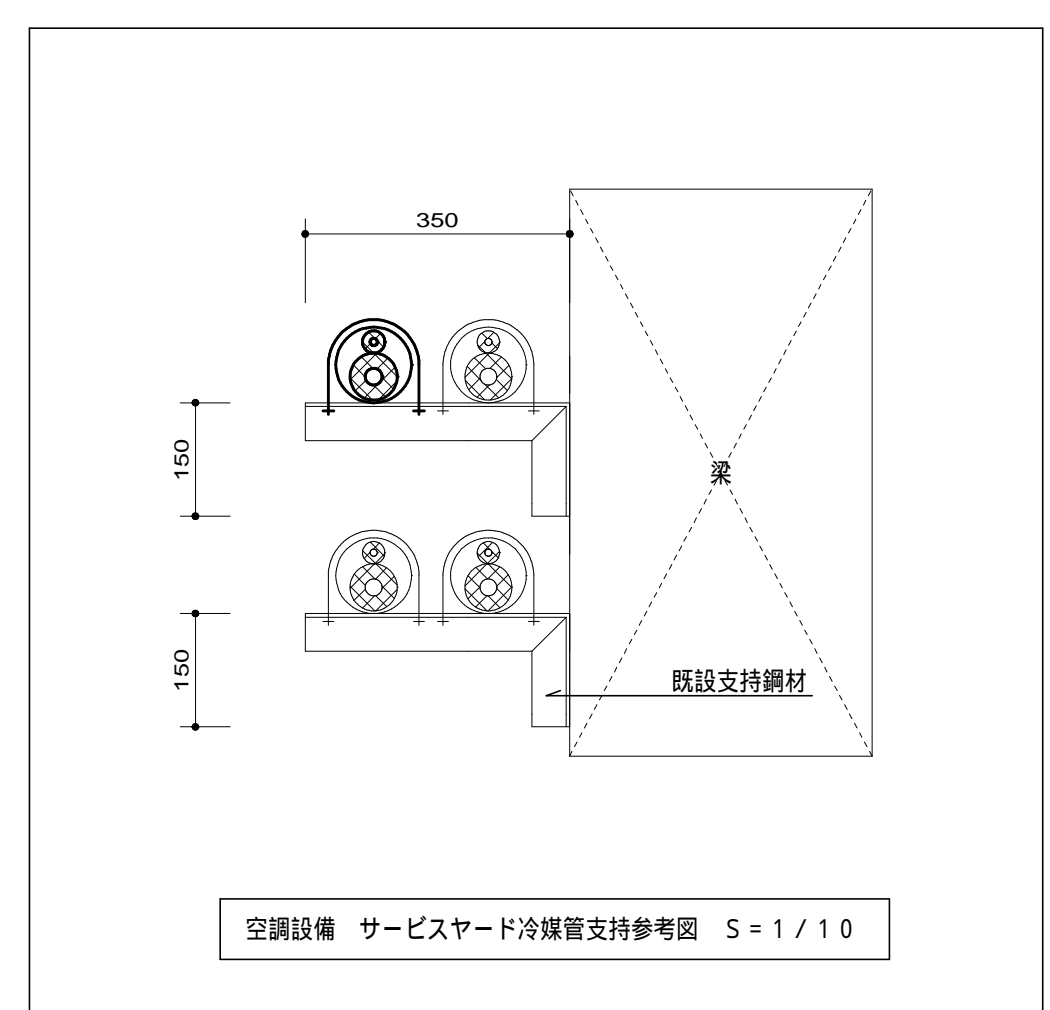
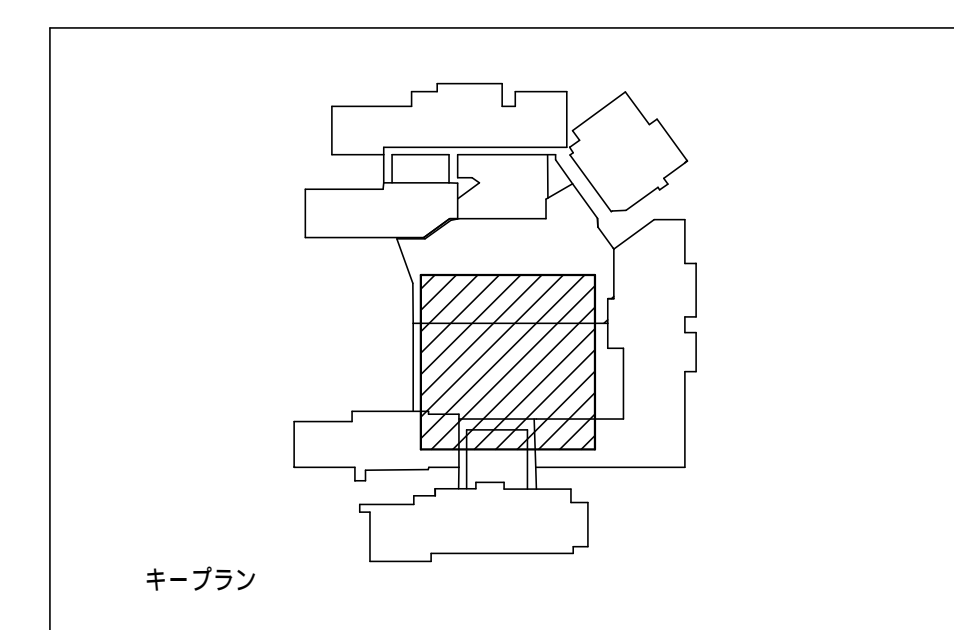
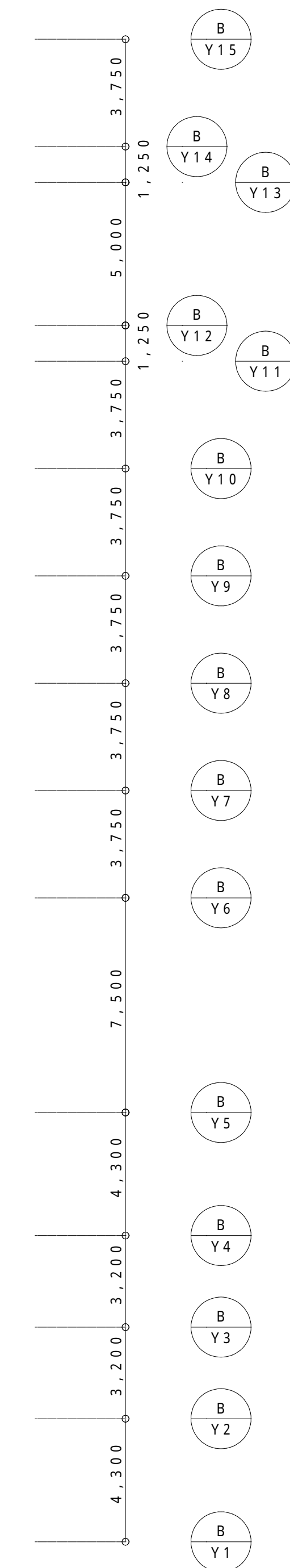
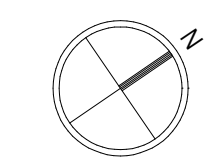
盤寸法表

盤名	形状	参考寸法			備考
		W	H	D	
A-C1CP-3	壁掛	700	700	250	

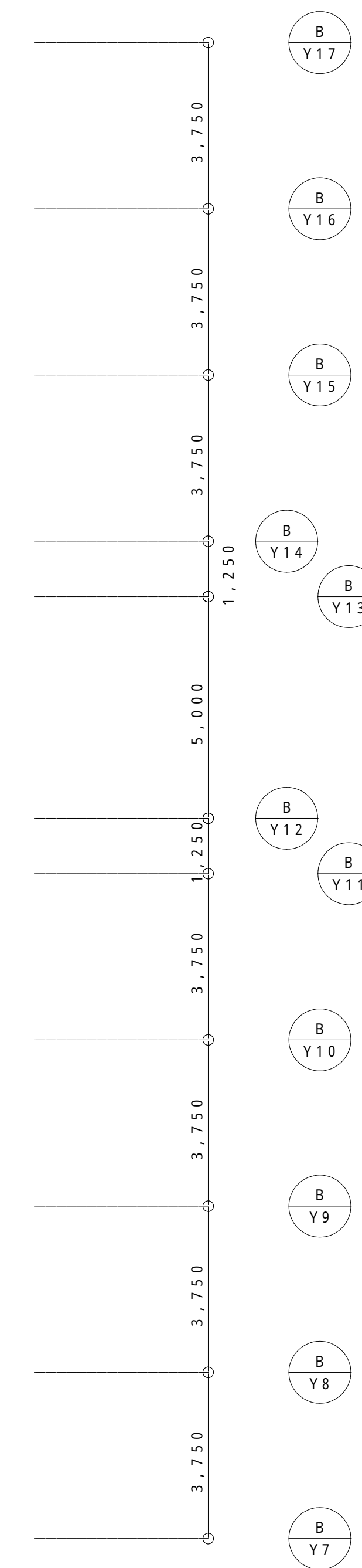
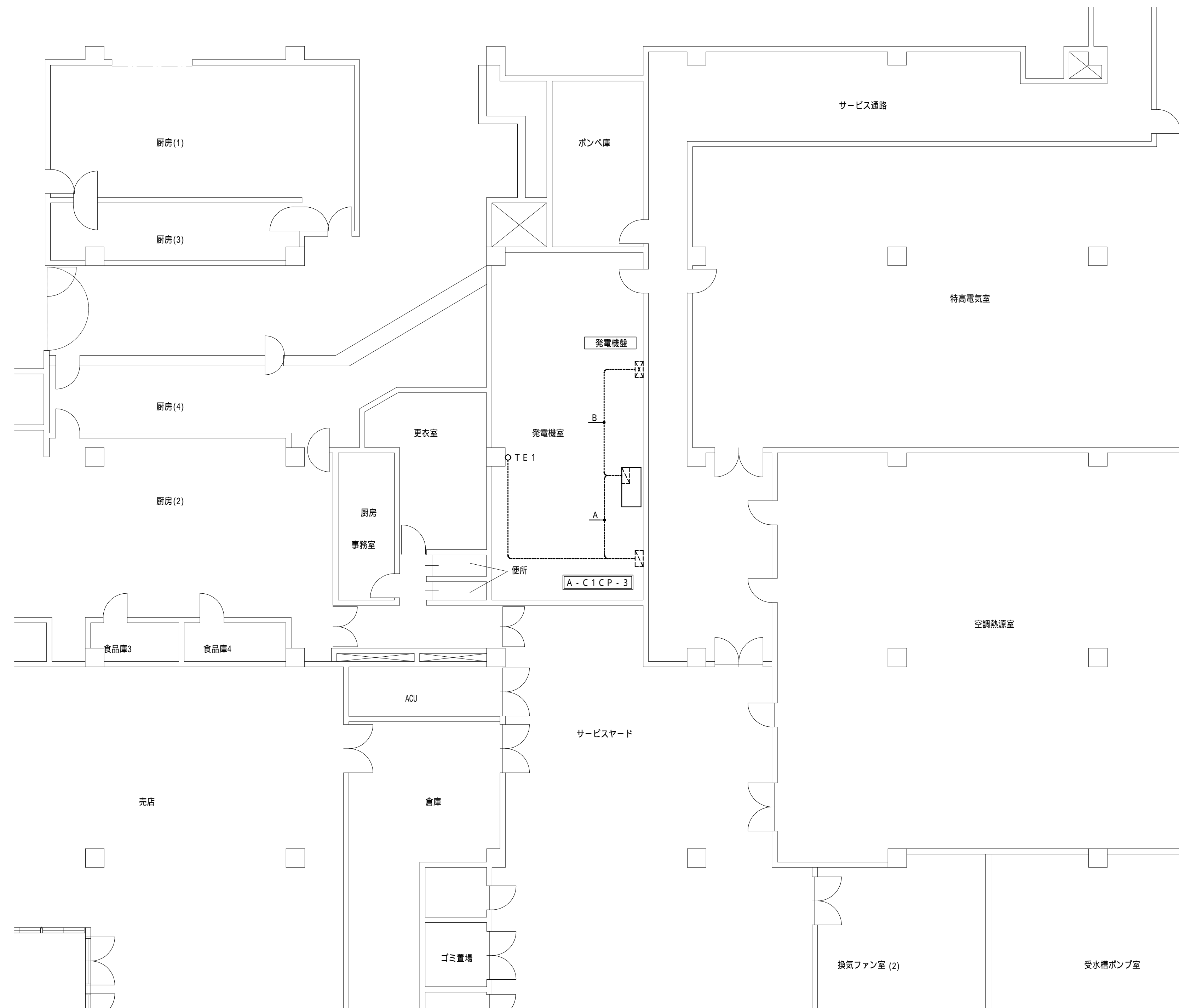
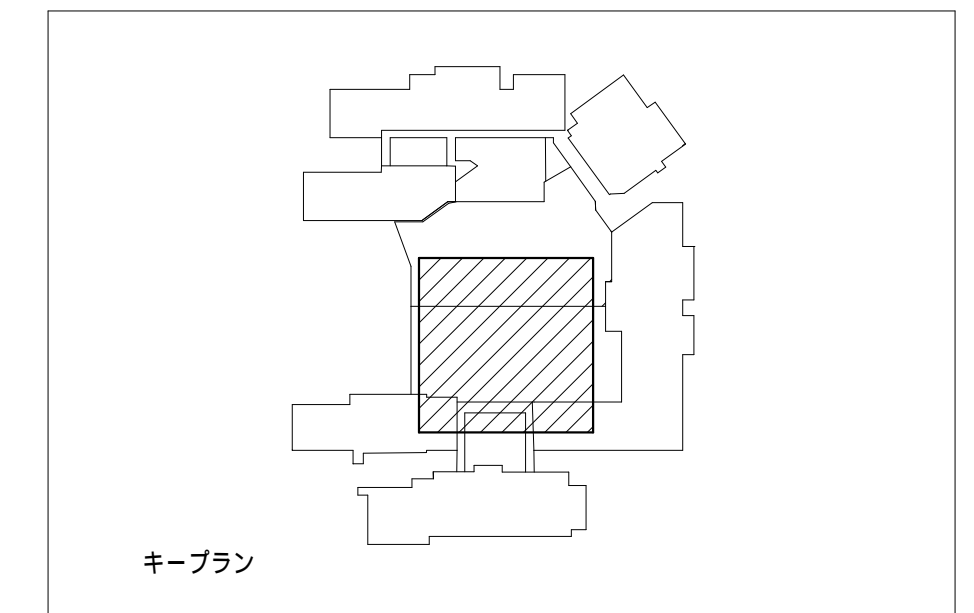
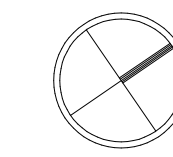
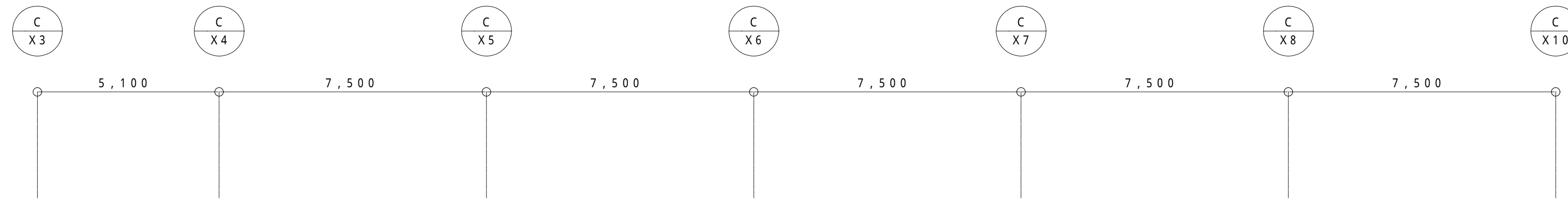




エネルギーセンター棟 A6棟
空調設備 1階平面図 S=1/150



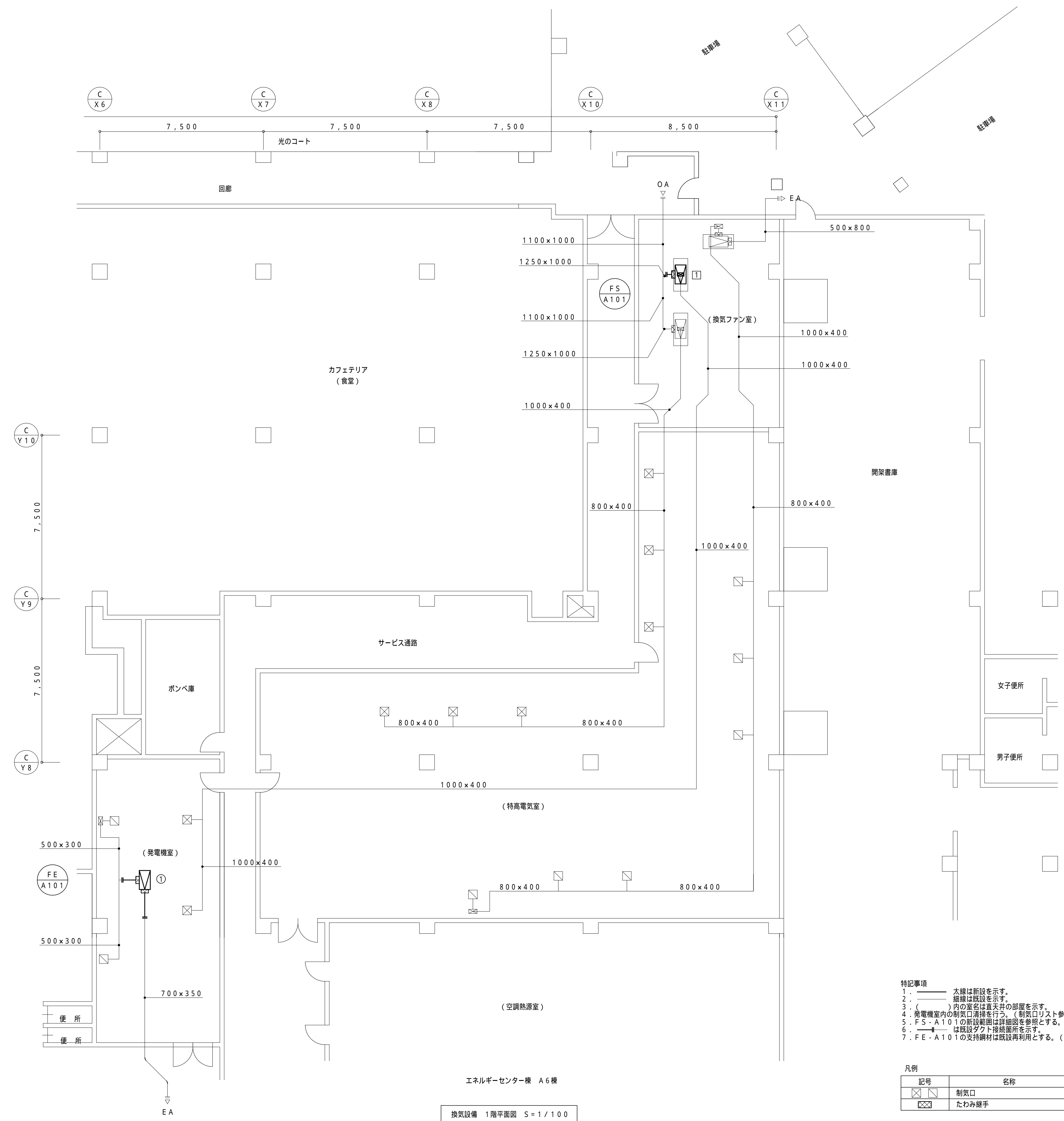
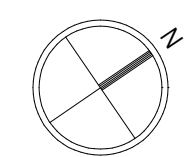
- 特記事項
- 太線は新設を示す。
 - 細線は既設を示す。
 - ()内の番号は直天井の部屋を示す。
 - R— は冷媒管を示し、ガス管28、6、液管15.9とする。
 - D— はドレン管を示し、硬質塩化ビニル管(VP)とする。
 - 屋外機置場の架台は詳細図を参照すること。
 - 防音ネットはNo. M11記載の参考図を参照すること。



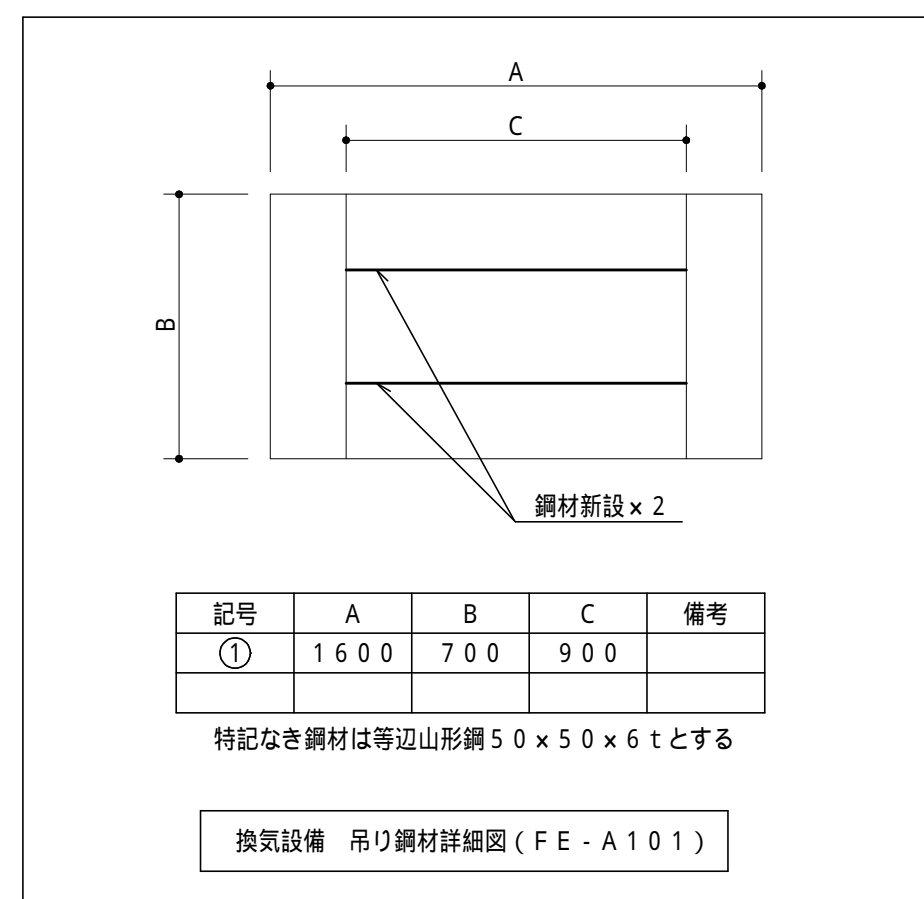
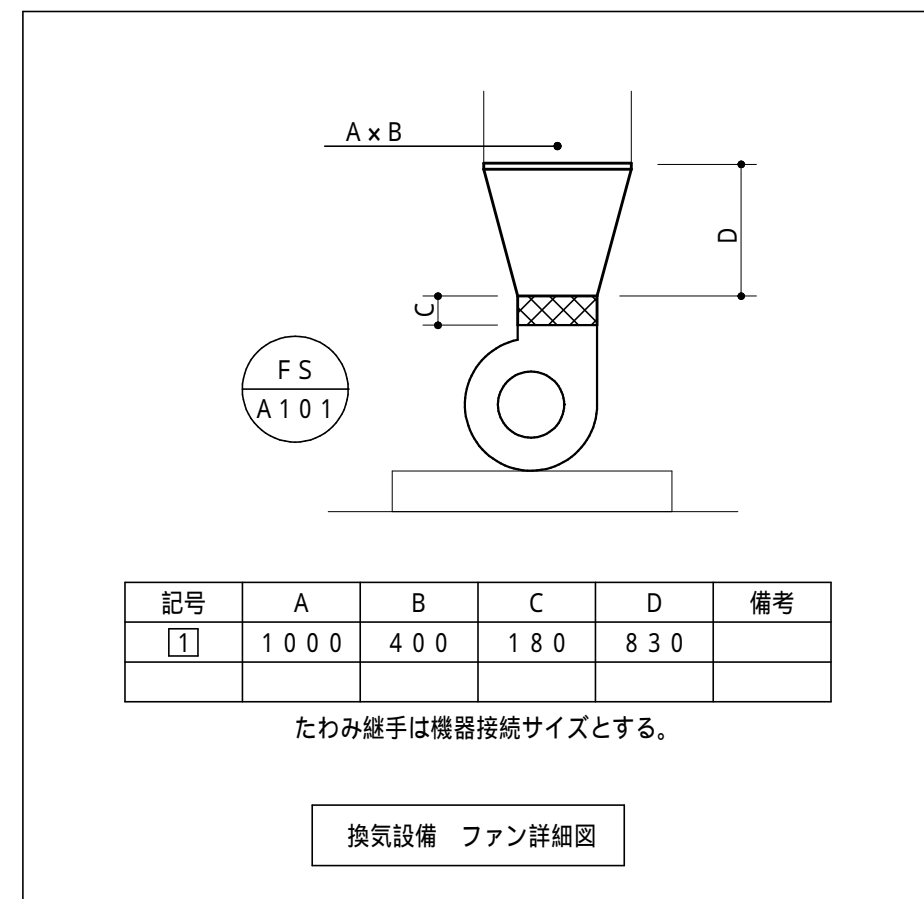
凡例

- A -	EM-C EE2口	- 2C x 3	(E39)	INT. SSx2
- B -	EM-C EE2口	- 2C x 1	(E25)	SS

自動制御設備 1階平面図 S=1/100



換気設備 1階平面図 S=1/100



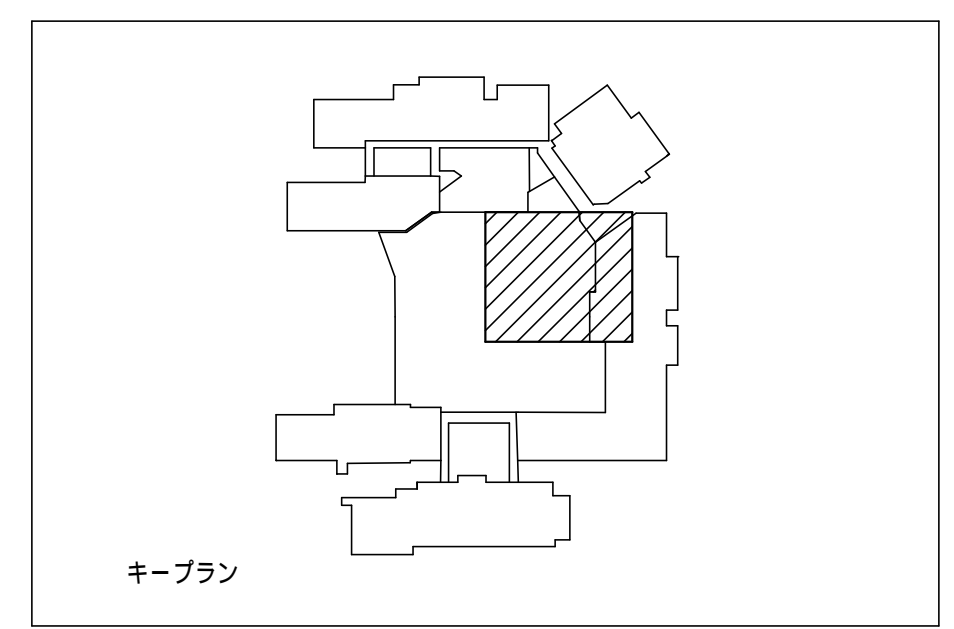
制気口リスト

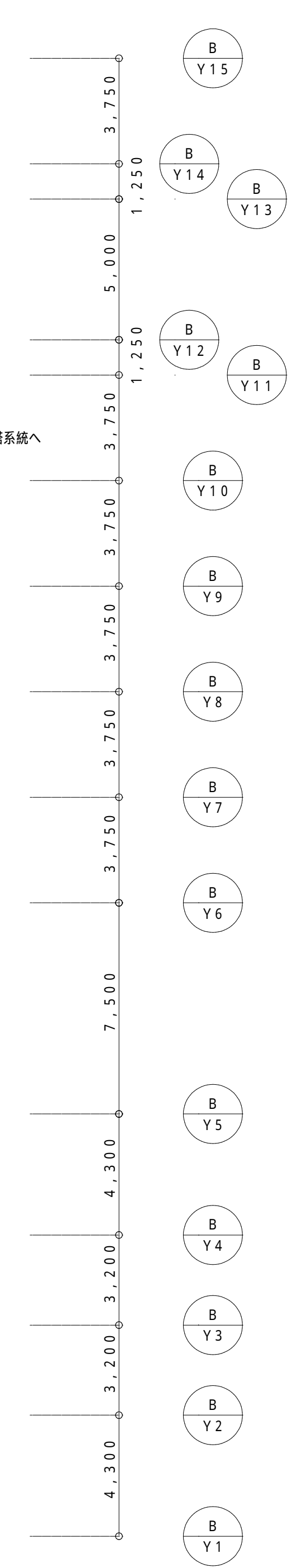
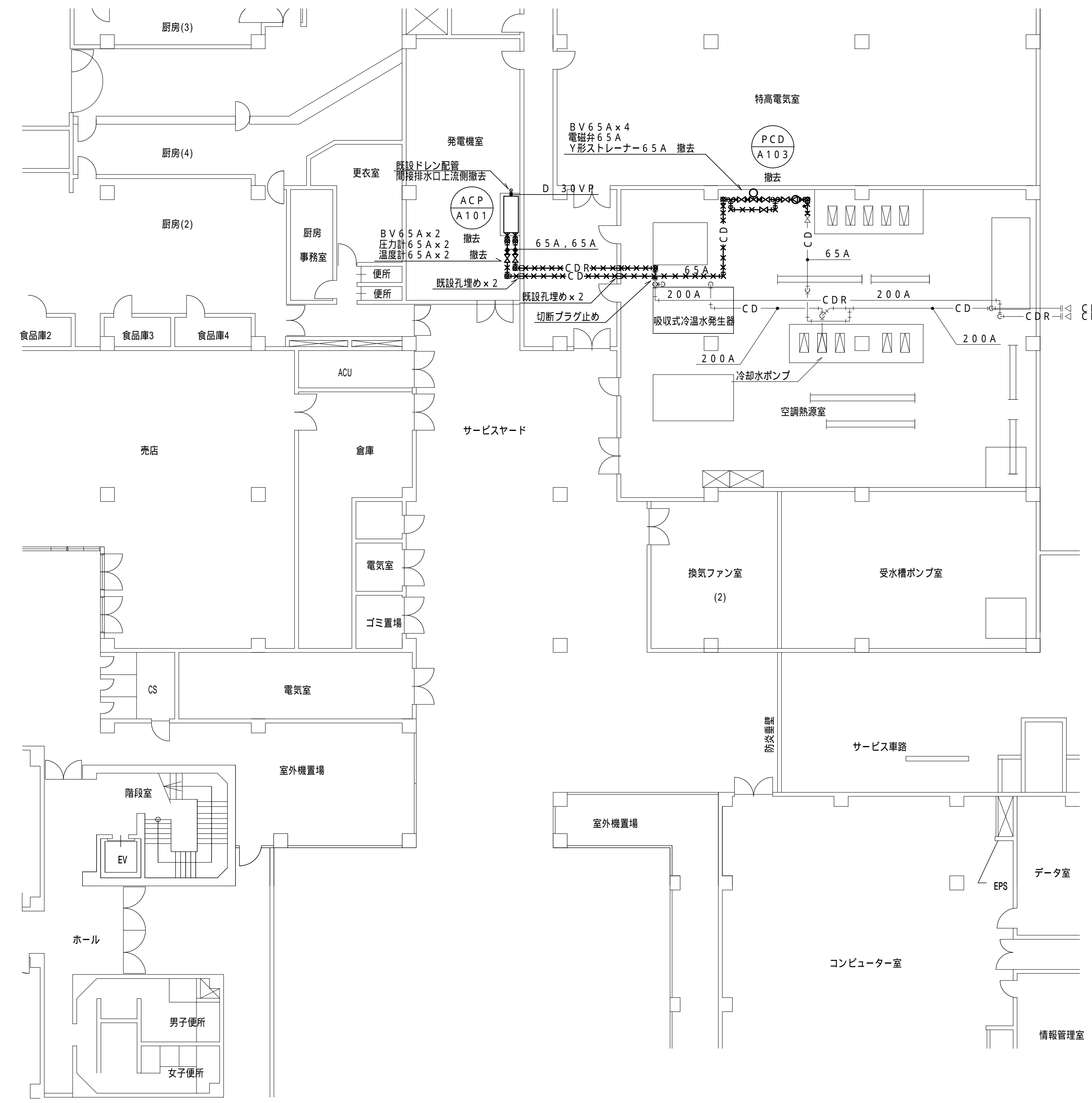
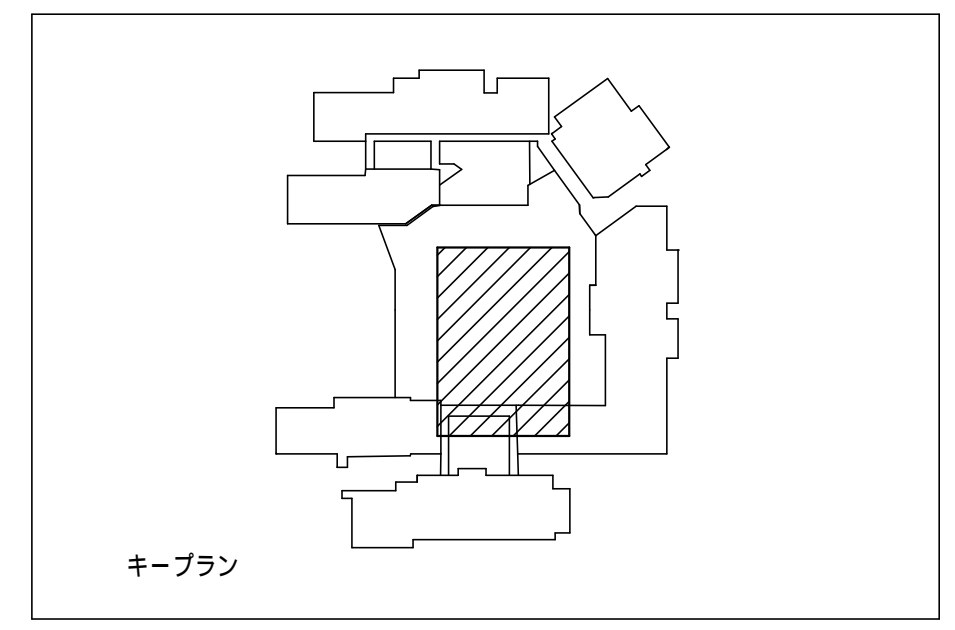
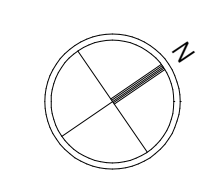
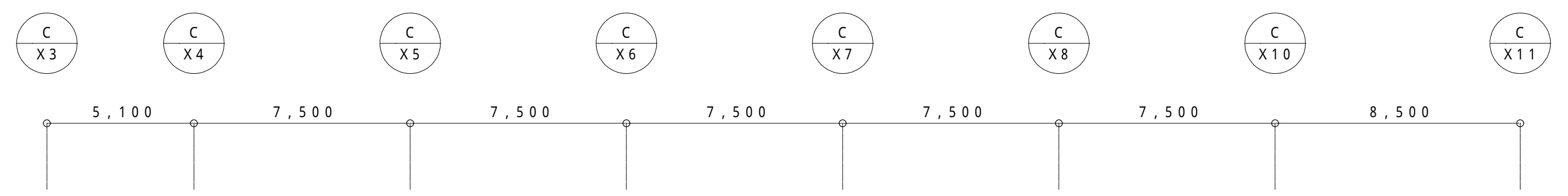
室名	発電機室	2
器具名	VHS 900 x 600	
風量	EA 6,200 m ³ /h	
室名	発電機室	1
器具名	HS 700 x 300	
風量	SA 1,000 m ³ /h	
室名	発電機室	1
器具名	HS 400 x 500	
風量	SA 1,000 m ³ /h	

- 特記事項
1. 太線は新設を示す。
 2. 細線は既設を示す。
 3. () 内の室名は直天井の部屋を示す。
 4. 発電機室内の制気口清掃を行う。(制気口リスト参照)
 5. FS - A101 の新設範囲は詳細図を参照とする。
 6. 〓 は既設ダクト接続箇所を示す。
 7. FE - A101 の支持鋼材は既設再利用とする。(詳細図参照)

凡例

記号	名称	備考
〓	制気口	清掃(制気口リスト参照)
〓	たわみ継手	

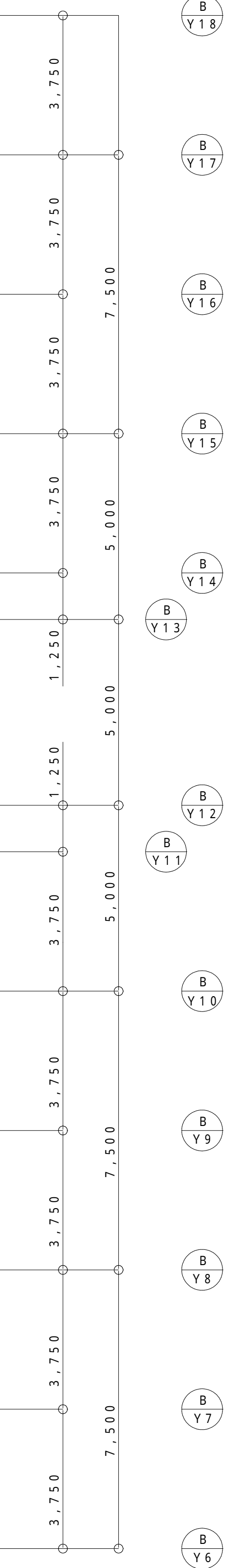
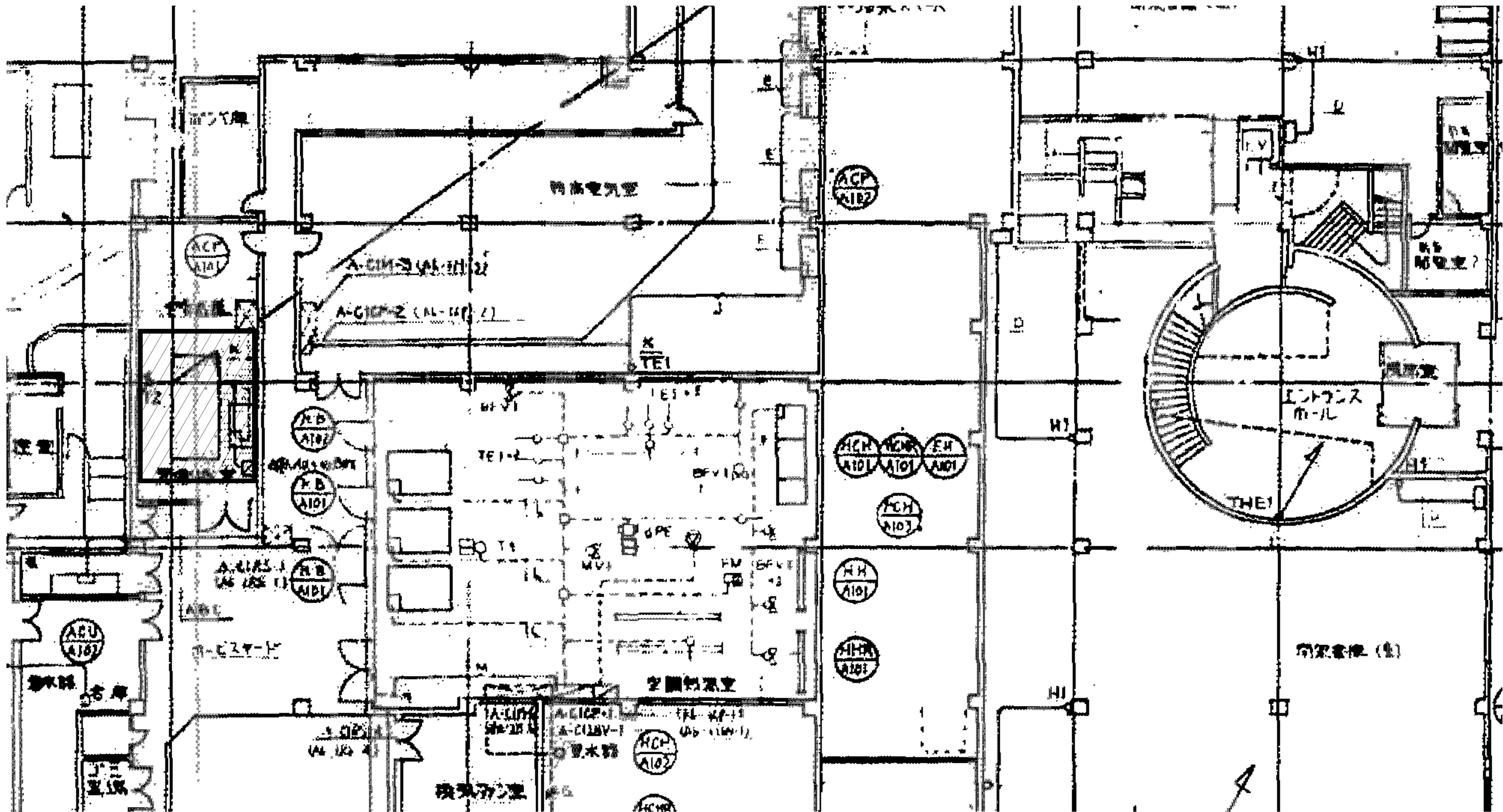




エネルギーセンター棟 A6棟

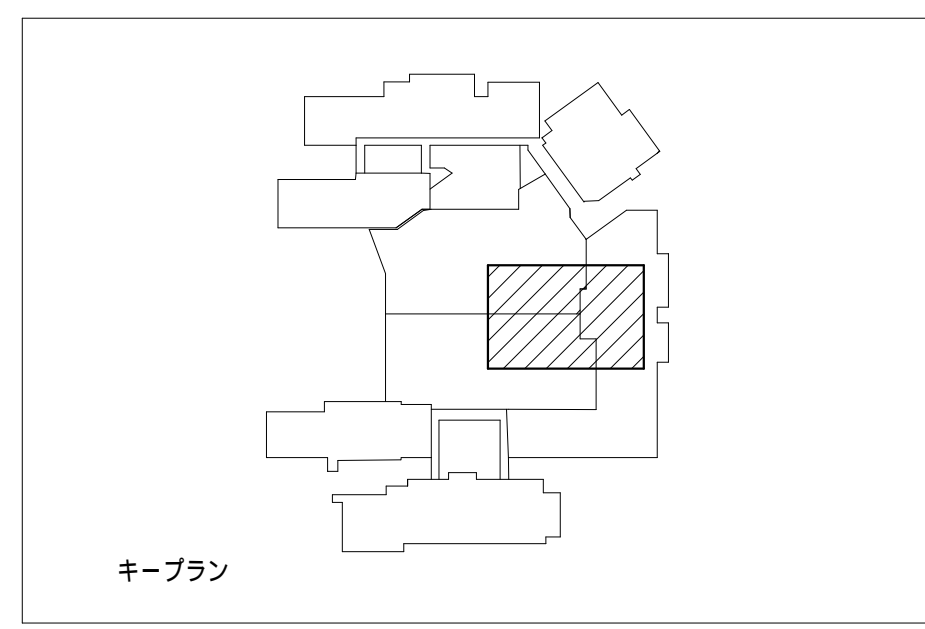
空調設備 1階平面図(撤去) S=1/150

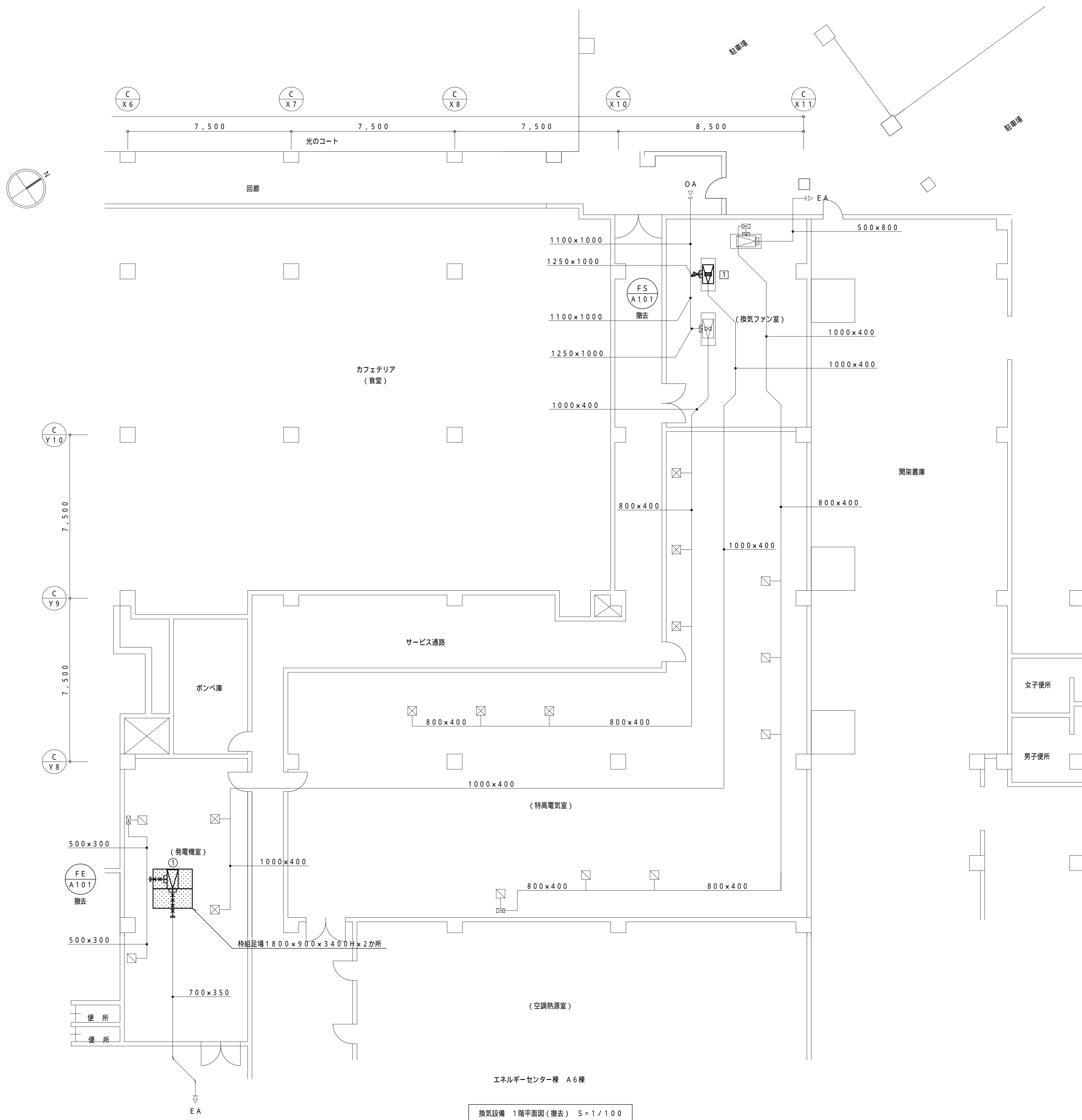
- 特記事項
1. ~~-----~~ 太線は撤去を示す。
 2. ~~-----~~ 細線は既設を示す。
 3. () 内の室名は直天井の部屋を示す。
 4. -CD- は冷却水配(注)を示し、SGPW製とする。
 5. -CD- は冷却水配(運)を示し、SGPW製とする。



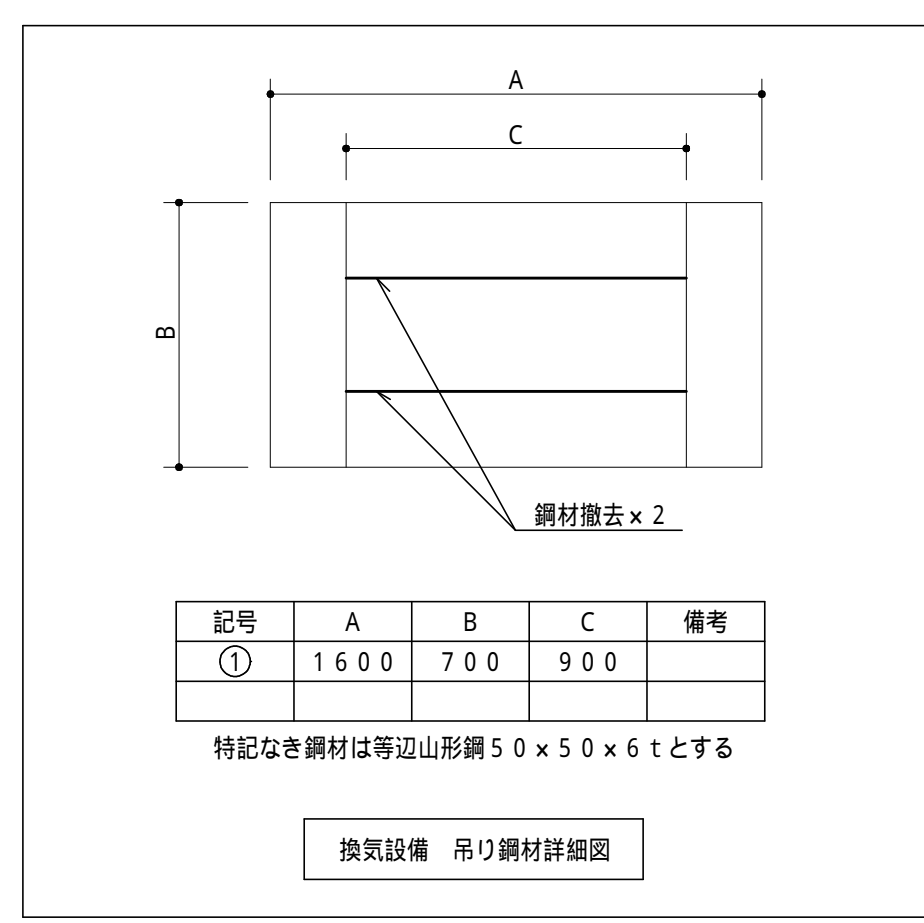
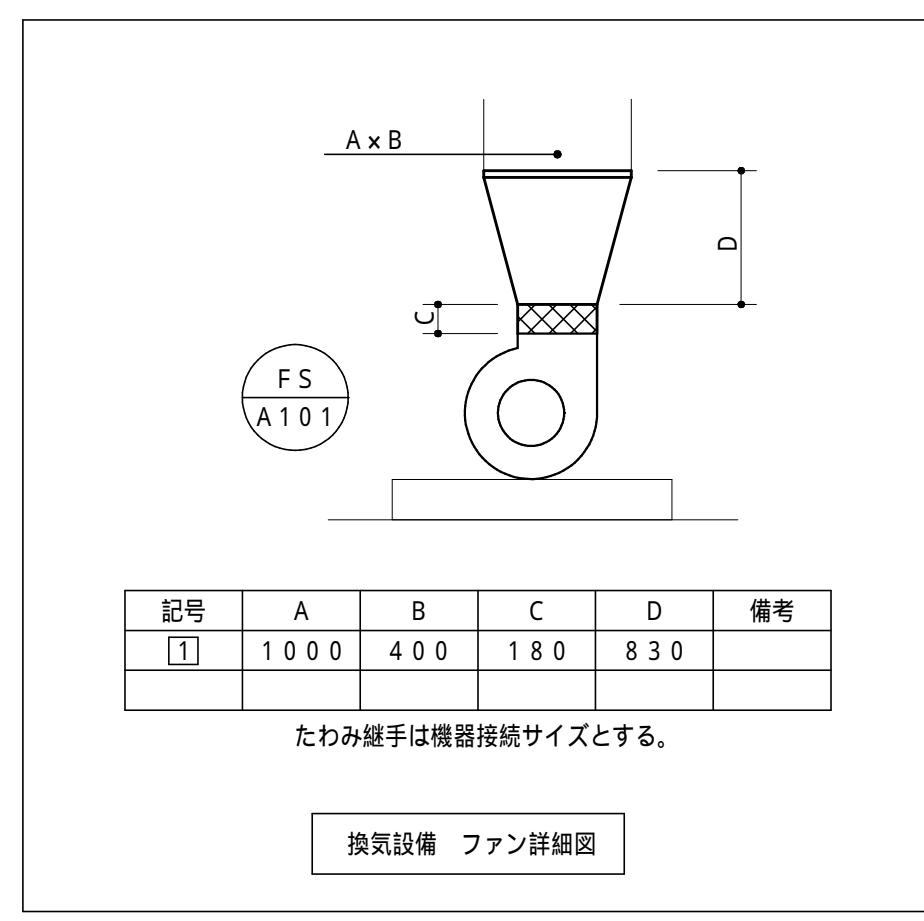
自動制御設備 1階平面図 (撤去) S=1/100

特記事項
1. 部は撤去部分を示す





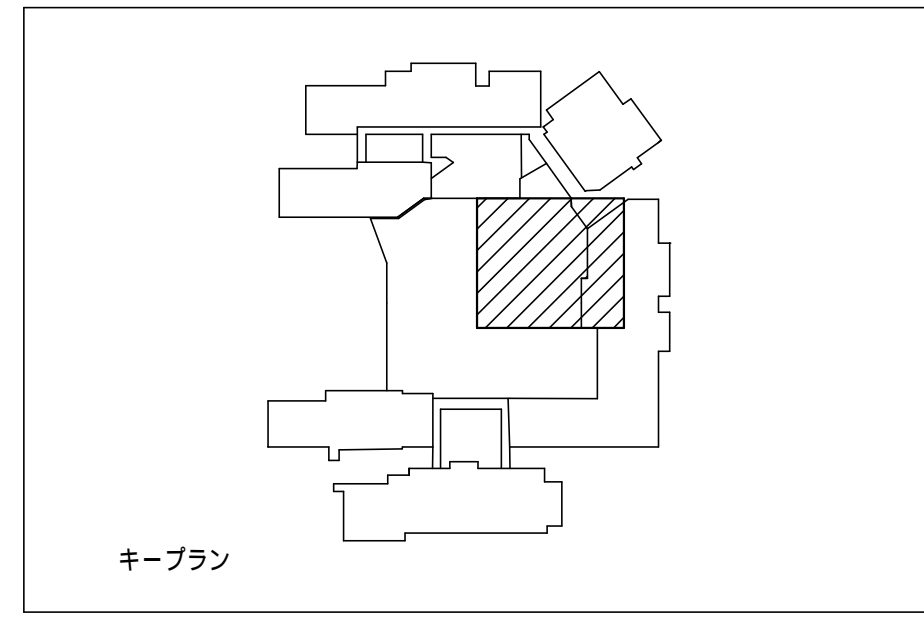
換気設備 1階平面図(撤去) S=1/100

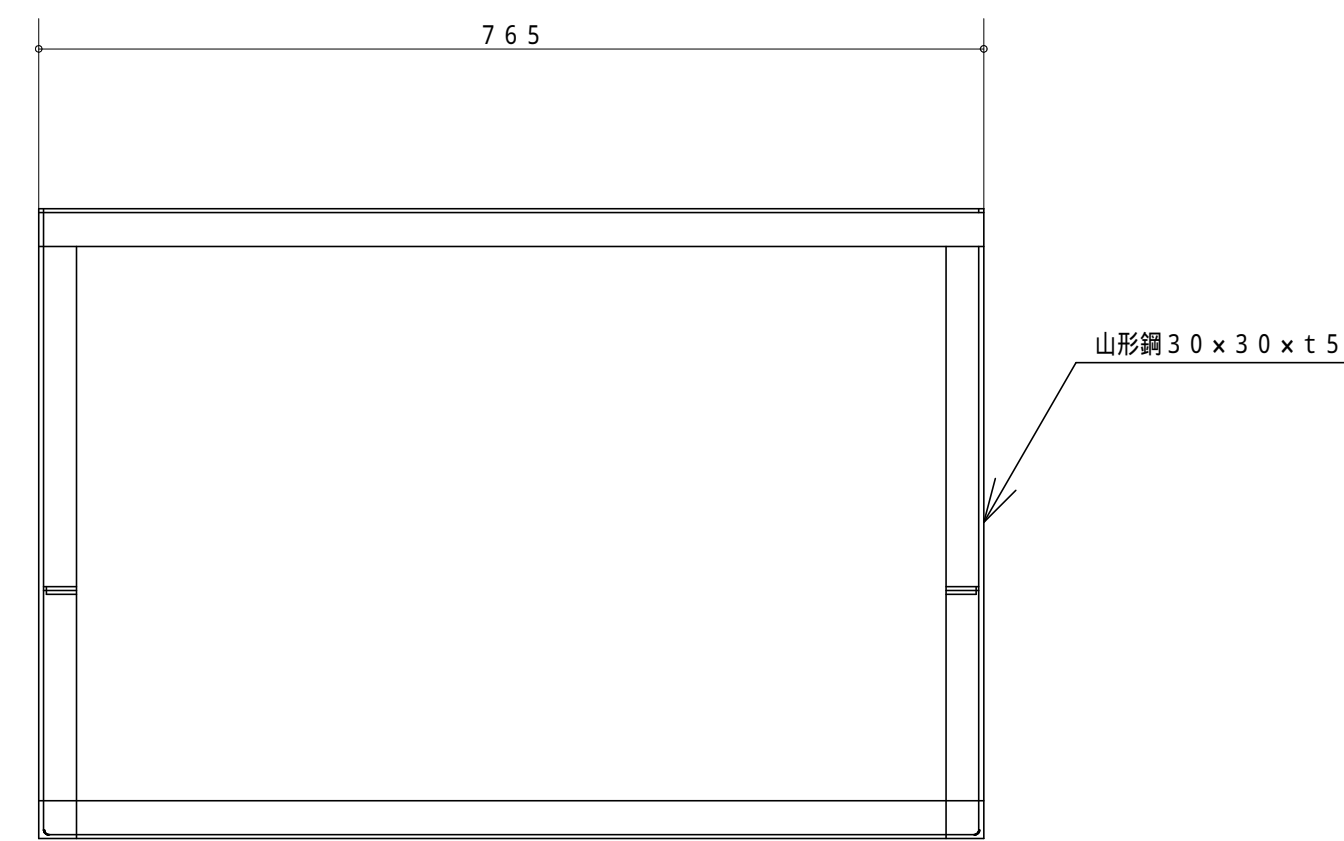
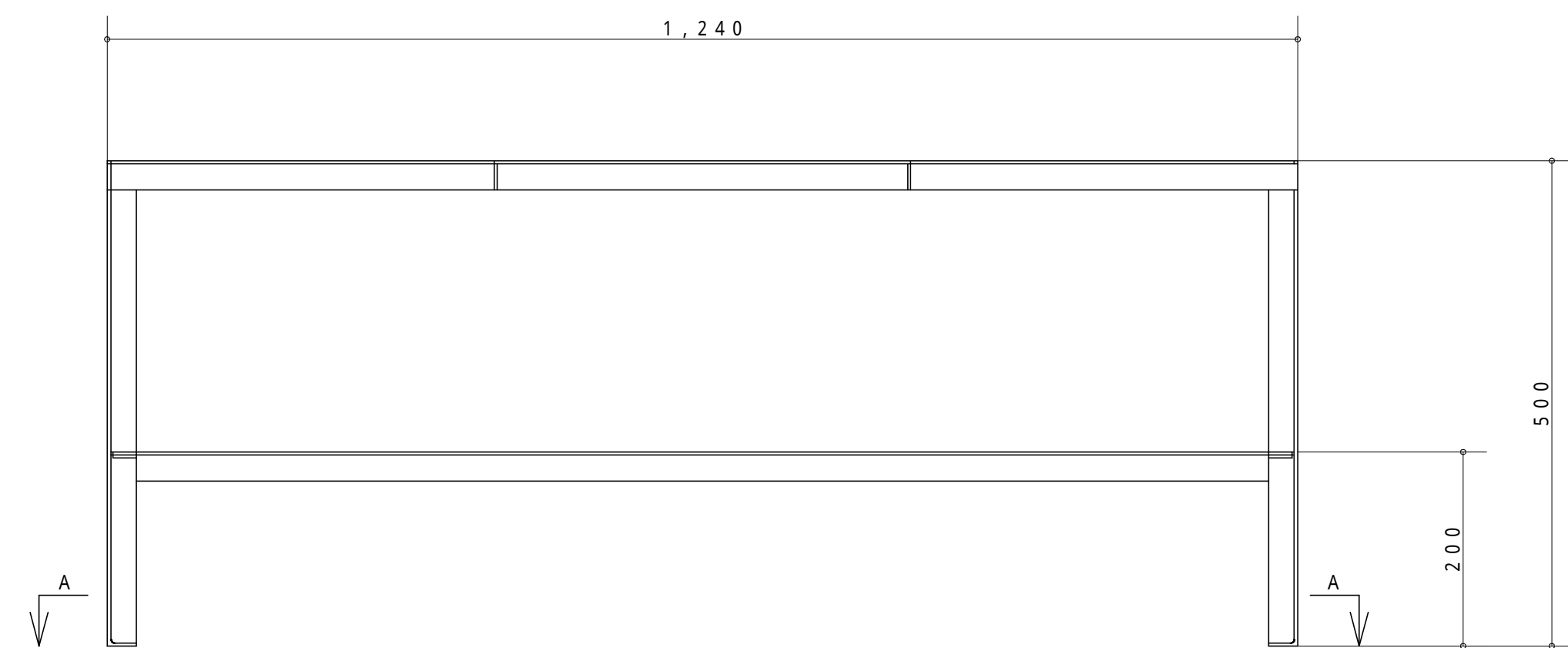
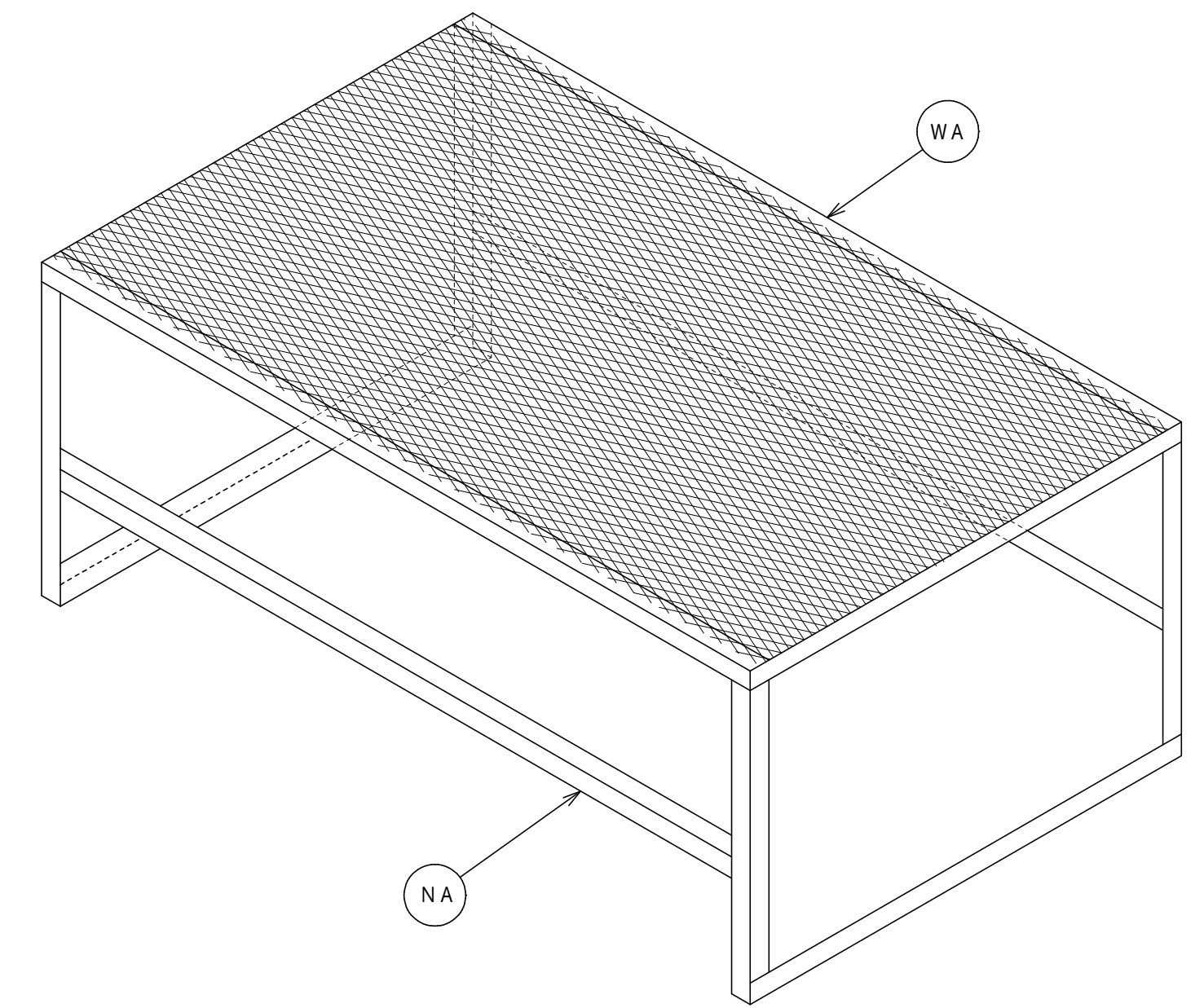
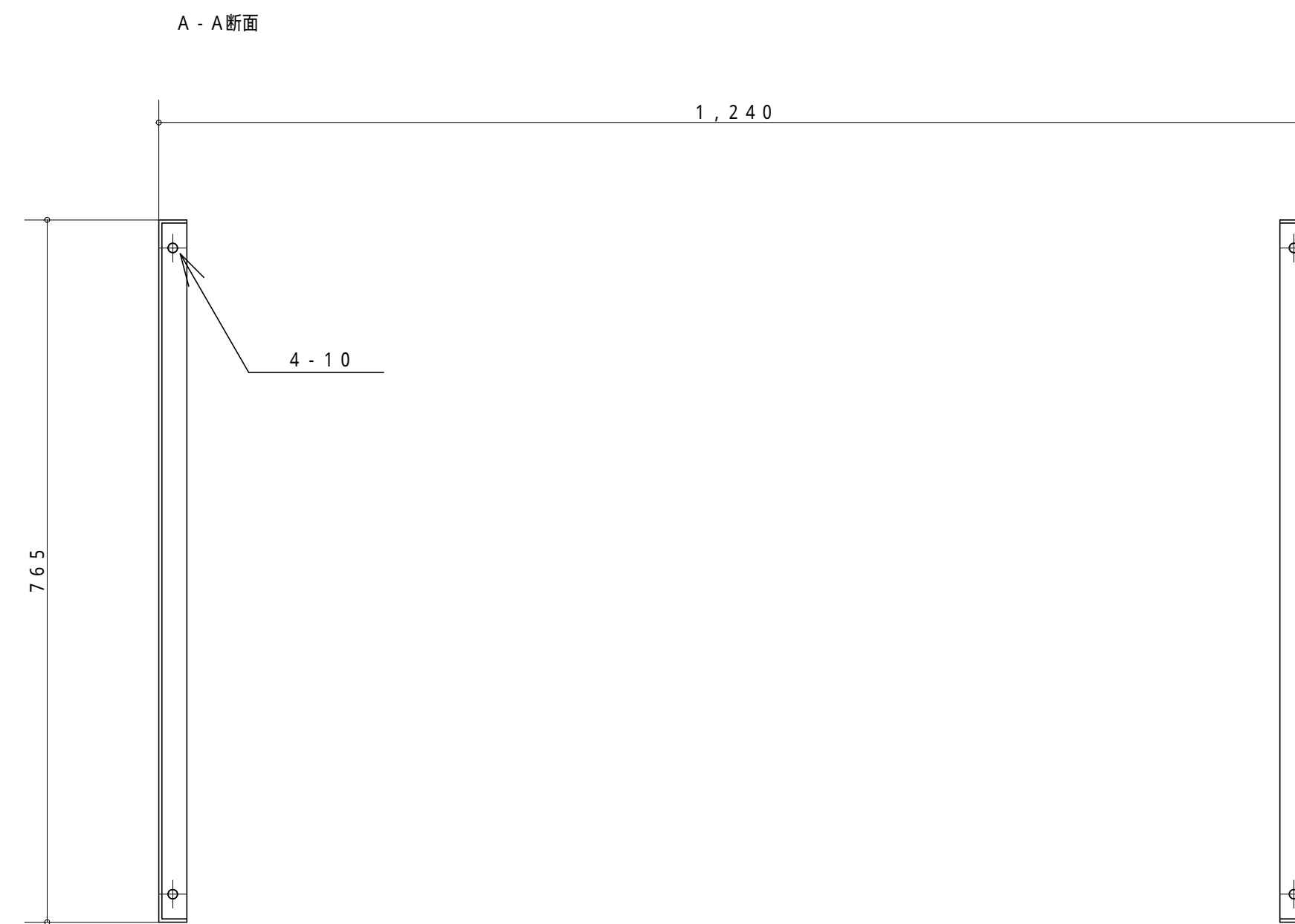
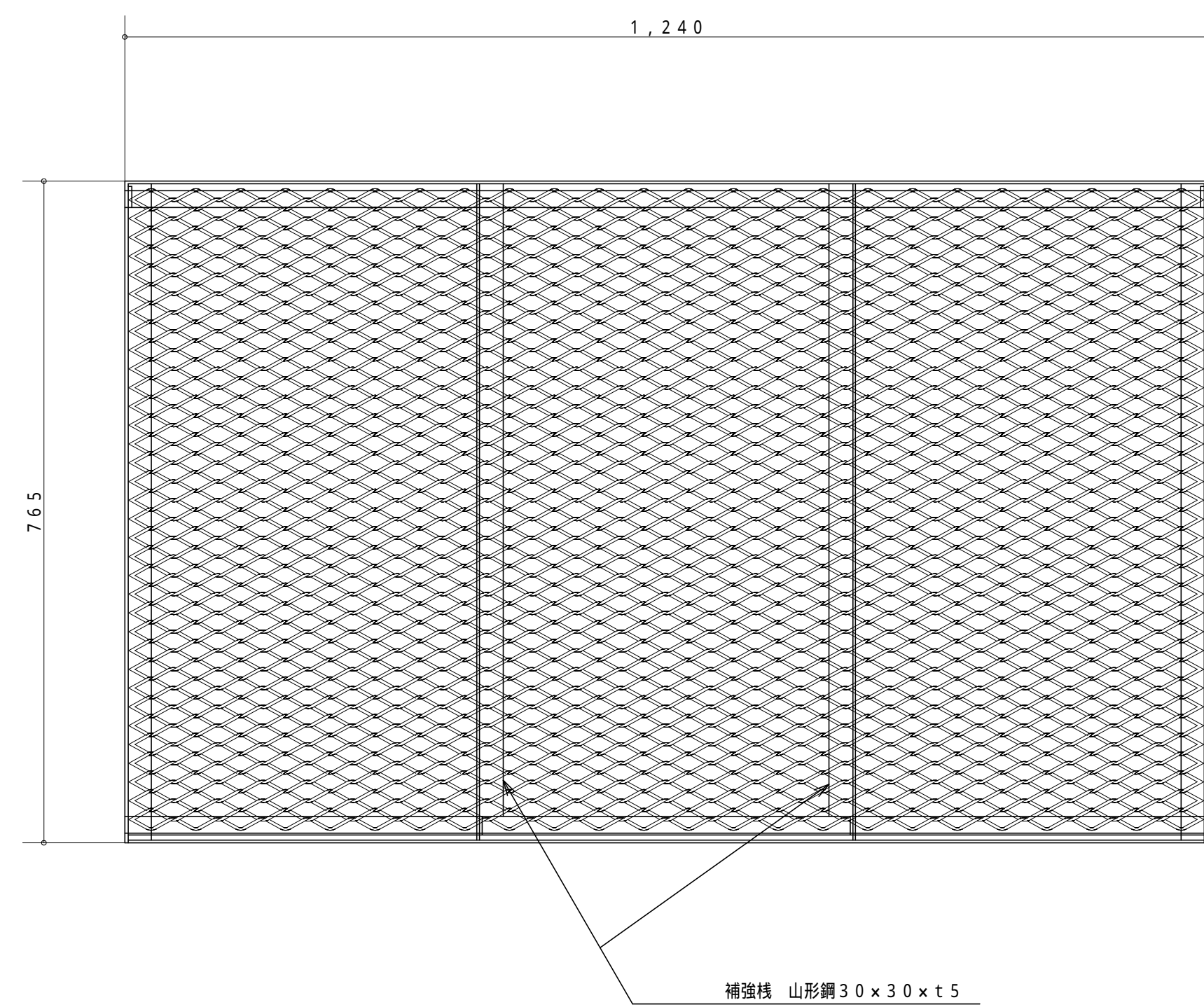


- 特記事項
1. 大線は撤去を示す。
 2. 細線は既設を示す。
 3. () 内の室名は天井の部屋を示す。
 4. 既設ダクトはチャンバーボックスは全て再利用のため残置とする。
 5. 換気機器支持鋼材は既設再利用とする。(詳細図参照)
 6. F S - A 1 0 2 の撤去範囲は詳細図を参照とする。
 7. は仮設足場範囲を示す。

凡例

記号	名称	備考
	制気口	
	たわみ継手	





SYM	部材名称	仕様	材質	個数
NA	網製枠	山形網30x30xt5	SS400	1
WA	エキスパンドメタルXS42種	XS-42	SS400	1

防雪ネット参考図